

利用者情報ワーキンググループ
2026 年度ヒアリングシート

本ヒアリングは、「特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律」（令和 2 年法律第 38 号）及び「電気通信事業における個人情報等の保護に関するガイドライン」（令和 4 年 3 月 31 日個人情報保護委員会・総務省告示第 4 号）に基づき実施するものです。

以下の各項目について、デジタル広告の観点から、貴社の取組・状況をご記載ください。

- Google 社、Meta 社、LINE ヤフー社の 3 社は、2025 年度モニタリング時と同一の設問に関しては、回答内容に変更がない場合はその旨、変更がある場合は変更点が分かるよう赤字（見え消し）でご記載をお願いいたします。
- TikTok 社におかれましては、全ての設問に回答ください。

問番号に「下線部追加」と記載のある設問については、従来の設問について質問の意図を明確化したほか、新たな観点を追加しております。これに伴い、昨年度回答いただいている Google 社、Meta 社、LINE ヤフー社の 3 社におかれましては、当該追加箇所に係る内容について、追加の回答又は既存の回答を修正いただきますようお願いいたします。

問番号に「※TikTok 社のみ」と記載のある設問については、Google 社、Meta 社、LINE ヤフー社の 3 社は回答不要です。

なお、2026 年度のモニタリングの観点は以下の資料をご参照ください。

※利用者情報に関するワーキンググループ（第 39 回）資料 39－2 [利用者情報の取扱いに関するモニタリングについて](#) P4、5

社名		Meta Platforms, Inc.
1. 利用者情報の取扱いの状況 ※以下の3つのパターンについて、差異が分かるように回答すること。内容に差異がない場合は、その旨回答すること（例：①と同じ、等）。 ①アカウントを保有している利用者が、ログインしてサービスを利用・閲覧する場合 ②アカウントを保有している利用者が、ログインせずにサービスを利用・閲覧する場合 ③アカウントを保有していない利用者が、サービスを利用・閲覧する場合		
1-1. [1-1] ※下線部追加	利用者情報取得の場面・取得する情報の内容、利用目的	① ② ③ ※利用者から直接収集する情報を対象とし（設問1、2に共通）、どの場面で、どのような情報を、何の目的で収集しているのかをご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 この質問は、利用者から直接どのような情報が収集され、何の目的で使用されるのかを問うものと理解します。 ① ②及び③ 2025年モニタリング依頼の設問1-1に対するMetaの回答（2024年モニタリング依頼の設問1-1に対するMetaの回答を参照しています）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。 Metaは、個人データを収集し使用方法について、利用者に明確で有意義かつ容易にアクセスできる情報を提供しています。また、Metaは、意義ある透明性の促進に努めており、可能な限り多くの人々が情報にアクセスできるよう、平易な言葉遣い、レイアウト、色調及びアイコンを主に使用するデザイン方針を採用しております。 Metaのプライバシーポリシーの「 どのような情報を収集しますか？ 」に記載のとおり、MetaはMeta製品を提供する過程において、利用者から直接4つのカテゴリの情報を収

		集します。(i) 利用者が Meta の製品に登録しプロフィールを作成する際に Meta に提供される情報（メールアドレス、電話番号又は年齢等）、(ii) 利用者が Meta の製品上で行うことに関する情報（利用者がクリック又は「いいね！」するもの、投稿及び写真、AI at Meta の一部である機能とのチャット、並びに利用者が送信するメッセージを含みます。一部の製品では、利用者はエンドツーエンド暗号化メッセージを使用できます）、(iii) 友達又はフォロワーの識別情報、及びそれらの者が Meta の製品上で行うこと、(iv) 利用者が Meta の製品を使用する電話、コンピュータ又はタブレットからの情報（どのような種類であるか、及び Meta アプリのどのバージョンを使用しているか等）。各項目はプライバシーポリシーに概説されています。利用者は、Facebook 又は Instagram のアカウントを最初に作成する際に、プライバシーポリシーに同意します。また、Meta のプライバシーポリシーでは、第 5 のカテゴリとして、パートナー、ベンダー及びその他の第三者から、Meta の製品内外で行うことに関する情報についても記載しています。これには、訪問する他のウェブサイト、使用するアプリ又はプレイするオンラインゲームが含まれる可能性があり、下記の設問 5-1①に対する Meta の回答にて扱っています。 (i 及び ii) 利用者のアクティビティ及び利用者が提供する情報 Meta は、Meta 製品全体にわたる利用者のアクティビティ及び利用者が提供する情報を収集します。例えば以下のとおりです。 ● 投稿、コメント又は音声など、利用者が作成するコンテンツ ● Meta のカメラ機能又はカメラロール設定を通じて、又は音声対応機能を通じて利用者が提供するコンテンツ ● 適用法令に従い、利用者が送受信するメッセージ（その内容を含みます）。一部の製品では、利用者はエンドツーエンド暗号化メッセージを使用できます。 ● 適用法令に従い、コンテンツ及びメッセージに関するメタデータ
--	--	--

		● AI at Metaの一部である Meta 機能とのやり取り及び関連するメタデータ。例えば、利用者又は他者がこれらの機能と交換するコンテンツやメッセージなどの情報。 ● 利用者が閲覧又はやり取りするコンテンツ（広告を含みます）の種類、及びそのやり取りの方法 ● 利用者が使用するアプリ及び機能、並びにそれらの中で行うアクション ● Meta のチェックアウト体験などを通じて利用者が行う購入又はその他の取引（クレジットカード情報を含みます） ● 利用者が使用するハッシュタグ ● Meta 製品上における利用者のアクティビティの時間、頻度及び継続時間 ● アカウントのサポートのために Meta に連絡する際に提供される場合の、利用者の写真又は動画の自撮り (iii) 友達、フォロワー及びその他のつながり Meta は、利用者が Meta 製品 の内外でつながり、やり取りする友達、フォロワー、グループ、アカウント、Facebook ページ並びにその他の利用者及びコミュニティに関する情報を収集します。これには、Meta 製品全体にわたりそれらとどのようにやり取りするか、及びどれと最も多くやり取りするかが含まれます。 (iii-a) 連絡先及びつながりについて Meta が収集する情報 また、利用者が、アドレス帳を同期するなどして、デバイス からアップロード又はインポートすることを選択した場合、氏名並びにメールアドレス又は電話番号など、利用者の連絡先又はつながりの情報も収集します。これらの者が Meta 製品を使用していない場合、又はアカウントなしで使用している場合でも、その情報が収集される可能性があります。
--	--	--

		(iii-b) 他者のアクティビティに基づいて Meta が利用者について収集又は推測する情報 Meta は、他者のアクティビティに基づいて利用者に関する情報を収集します。例えば、他者が以下を行う場合、Meta は Meta 製品上の利用者に関する情報を収集します。 ● 利用者がタグ付けされた写真を共有又はコメントする ● 利用者にメッセージを送信する ● 会話への参加を利用者に招待する ● アドレス帳又はフォロワーリストなど、利用者の連絡先又はつながりの情報をアップロードする ● ゲームをするよう利用者を招待する ● 友達又はフォロワーとしてなど、利用者となつがる ● 利用者をブロック又は報告する ● 利用者が共有したメッセージ及びコンテンツを含め、AI at Meta に利用者に関する情報を提供する (iv) アプリ、ブラウザ及びデバイス情報 Meta は、利用者が使用するさまざまなデバイスから及びそれらに関する情報、並びに利用者がそれらをどのように使用するかについての情報を収集し、受領します。 Meta が収集し受領するデバイス情報には、以下が含まれます。 ● 利用者が使用しているデバイス及びソフトウェア、並びにその他のデバイス特性 ● Meta アプリがフォアグラウンドにあるか、又はマウスが動いているかなど、デバイス上で利用者が行っていること（人間とボットを区別するのに役立つ場合があります） ● Family Device ID を含め、利用者のデバイスを他の利用者のデバイスと区別する識別子 ● 利用者のデバイスからのシグナル
--	--	---

		● GPS 位置情報、カメラへのアクセス、写真及び関連するメタデータなど、デバイス設定を通じて利用者が Meta と共有した情報 ● IP アドレスを含む、利用者がデバイスを接続するネットワーク及び接続に関する情報 ● デバイス設定で位置情報サービスがオフになっている場合でも、一部の位置関連情報。これには、IP アドレスを使用して利用者のおおよその位置を推定することが含まれます。 ● 利用者のデバイス上における Meta 製品のパフォーマンスに関する情報 ● Cookie 及び類似の技術から得られる情報 詳しくは、Meta プライバシーポリシーをご覧ください。 Meta は、収集した情報を、以下の設問 1-2-1 に対する回答に記載された目的のために使用します。 ②及び③ ユーザーがアカウントにログインしていないにもかかわらず Meta のサービスを利用したりコンテンツを閲覧したりする場合、Meta はプライバシーポリシーに記載されている情報を収集することがあります。収集される具体的な情報は、ユーザーが Meta 製品とどのようにやり取りしているか、また、ユーザーが第三者のパートナーサイトで Meta 製品とやり取りしている場合、Meta のパートナーが Meta にどのような情報を送信するかによって異なります。 利用目的は、収集した情報をユーザーのアカウントと照合するかどうかによって異なります。利用目的については、設問 1-2-1 に対する Meta の回答をご覧ください。 Meta のプライバシーポリシーには、ユーザーがアカウントなしで Meta 製品とやり取りしたり、Meta 製品を使用したりする際に収集される可能性のある情報が記載されています。Meta プライバシーポリシーは、Meta がそのようなユーザーに対して、収集される可
--	--	--

		能性のある情報及びその目的を通知するために一般に公開されており、Meta プライバシーポリシーには、どのようなデータが収集されるかをユーザーが容易に理解できるように、そのようなユーザーのための特定のポップアウトが含まれています。その内容は以下のとおりです。 アカウントはないものの、Meta 製品を利用または操作した場合に Meta が収集および受信する情報 アカウントがなくても、Meta 製品でアクションを実行したり Meta 製品を利用したりすることは可能です。その場合、Meta は以下のような情報を取得します。 ● Facebook ページ、動画など、公開コンテンツへのアクセスに関するブラウザとアプリの記録 ● デバイスのモデルや OS など、Meta のアプリをダウンロードしたデバイスに関する基本情報」 さらに、Meta のプライバシーポリシーの同じポップアウトでは、Meta が収集した情報をセキュリティ、安全性及び完全性、広告並びにパフォーマンス目的を含めて使用する理由を、アカウントを持たないユーザーに対して説明しています（詳細については、以下の設問 1-2-1 に対する回答をご参照ください）。 なお、Meta は、Meta のビジネスツールを通じてパートナーから受け取った情報を登録されたユーザーと照合することはありますが、照合されなかったデータを処理してアカウントのないユーザーのプロファイルを作成することはありません。 上記の質問への回答に加えて、Meta の製品を使用しない者については、その者の個人情報がどのように処理され得るかについても開示しています。この情報は、非ユーザー向けの追加通知「Meta 製品をご利用でない方向けの情報」において提供しており、非ユーザーに対して、「Meta Platforms, Inc.（以下「Meta」）は、Facebook、Messenger 又は Instagram で利用可能な連絡先のアップロード又は連絡先の同期機能（以下「連絡先
--	--	---

		のアップロード」）を通じて Meta のユーザーから受領した場合に、あなたの氏名、携帯電話番号及び／又はメールアドレスを処理します。Facebook、Messenger 又は Instagram のユーザーではない場合及び／又は Meta のアカウントをお持ちでない場合（以下「非ユーザー」）であっても、Meta はこの情報を処理します。」と説明しています。
1-2-1. [1-2-1] ※下線部追加	取得情報の加工・分析・利用 状況	① ② ③ <u>※利用者から収集した情報をどのように加工、分析、利用しているかについてご記載ください。</u> ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 この質問は、Meta が利用者から直接収集した情報を広告のためにどのように使用しているかを尋ね、①に対する②及び③の差異の説明を求めるものと理解します。 ①、②、③について、2025 年モニタリング依頼の設問 1-2-1 に対する Meta の回答（2024 年モニタリング依頼の設問 1-4 に対する Meta の回答を参照しています）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。 Meta のプライバシーポリシーには、利用者による選択に服することを条件として、Meta が Meta の有する情報をどのように利用するのかが明記されています。 Meta は、収集した情報を利用して、広告を含むパーソナライズされた体験を利用者に提供するほか、以下で詳細に説明するその他の目的のために使用します。 これらの目的の一部において、Meta は Meta 製品全体及び利用者のデバイス全体にわたって情報を使用します。これらの目的のために Meta が使用する情報は、Meta のシステムにより自動的に処理されます。ただし、場合によっては、手動審査を用いて利用者の情報にアクセスし、確認することもあります。

個々の利用者に関連付けられた情報の利用を減らすため、場合によっては、利用者特定できないように情報を非識別化、集計、又は匿名化します。Meta は、本セクションに記載する利用者情報の使用方法と同じ方法で、この情報を使用します。
例えば、Meta は、下記の目的のために受領したデータを利用します。

Meta 製品の提供、パーソナライズ、向上

Meta は、Meta [製品](#)の提供と向上のために、保有している情報を使用します。これには、[おすすめ](#)を含む機能やコンテンツのパーソナライズが含まれ、利用者の [Facebook フィード](#)、[Instagram フィード](#)、[AI at Meta](#)、ストーリーズ、広告などが対象となります。自らの判断でご提供いただいた[特別保護対象の情報](#)については、こうした目的のために使用しますが、利用者に広告を表示する目的では使用しません。

広告やその他のスポンサードコンテンツ・商業コンテンツの表示方法

Meta 製品をご利用の際、利用者には広告や、ショップの商品リストなどのスポンサードコンテンツ・商業コンテンツが表示されます。また、ほかのアプリにアクセスする際に、[Meta Audience Network](#)を通じて広告や商業コンテンツが表示されます。利用者に表示されるすべてのコンテンツを、利用者にとって興味のある、役に立つ内容にしたいと Meta は考えています。

利用者やほかの利用者に表示されるコンテンツを決定するに当たって、Meta は利用者に関する以下のような情報を使用しています。

- プロフィール情報
- Cookie などの技術を通じて Meta が受け取る情報など、Meta 製品の内外でのアクティビティ（利用者の設定に従います）
- Facebook と Instagram 全体で作成したりアクションを実行したりするコンテンツ
- 利用者が興味を持ちそうだと Meta が考えるトピックなど、利用者に関する推察

- 友達、フォロワー、その他のつながりに関する情報（これらの人のアクティビティや興味・関心を含みます）

また、個人を特定できないように非識別化、集計、又は匿名化された情報も広告の表示に使用します。

Meta 製品の向上を目的とした情報の使用方法

Meta は常に製品の改善と、利用者が望む機能を備えた新製品の開発に努めています。利用者から取得する情報は、それをどう実現するかを知るのに役立ちます。

Meta は、取得する情報を以下の目的で使用します。

- 製品や機能の開発及び改善
- 新製品や新機能が機能するか確認するためのテスト
- 製品や機能に関するアイデアについてのフィードバックの受け取り
- Meta 製品、ブランドの気に入っている点や改善方法に関するアンケートなどの調査の実施

位置関連情報の使用方法

位置情報サービスのデバイス設定がオンになっている場合には、受け取りが許可されている位置関連情報を使用します。これには、GPS 位置情報やその他の[デバイスの信号](#)（ご利用のオペレーティングシステムに応じます）などがあります。

また、位置情報サービスがオフになっていても、一定の位置関連情報を受け取って使用します。例えば次のようなものがあります。

- [IP アドレス](#)（概略位置情報を推定するのに使用します）。利用者やほかの人の安全やセキュリティを保護するのに必要な場合、具体的な位置情報を推定するために IP アドレスを使用することがあります。

- チェックインやイベントなど、Meta 製品での利用者やほかの利用者のアクティビティ
- プロフィールに現在の居住地を入力した場合や、Marketplace で住所を提供した場合など、利用者が Meta に直接提供する情報

Meta は、[本ポリシーの「利用者の情報の使用方法」のセクション](#)に記載する事項を行う目的で、利用者の現在位置、住所、好んで行く場所、付近の事業者や人々などの位置関連情報を利用します。例えば以下のとおりです。

- 利用者やほかの利用者のために行う、Meta 製品（広告を含みます）の提供、パーソナライズ、向上
- 不審なアクティビティの検知や、アカウントの安全確保

安全、セキュリティ、保全の推進

Meta は、人々を危害から守り、安全でセキュアな製品を提供するのに役立てるために、取得する情報を使用します。

以下は、Meta が安全、セキュリティ、保全を推進するための取組みの一例です。Meta は以下を行います。

- アカウント、身元、アクティビティの確認
- 利用規約やポリシーへの違反の発見と対処。場合によっては、Meta が違反について行った決定は[監督委員会](#)によって審査されます。監督委員会は、Meta の決定を審査する際に、Meta が保有する情報を使用する場合があります。
- 疑わしいアクティビティの調査
- 有害又は違法な行為の検出、防止、対処
- 歴史的に疎外されてきたコミュニティに対する[格差及び人種的偏見の特定と対処](#)
- スпам及びその他の悪質な体験の検出と防止
- [助けを必要としている人の検出](#)及びサポートの提供

- Meta の人員及び財産に対する脅威の検出と阻止
- Meta 製品の完全性の維持

効果測定、分析、ビジネスサービスの提供

多くの事業者がビジネスの運営や宣伝、又はコンテンツの共有に Meta 製品を使用しています。Meta は、こうした事業者が広告やその他のコンテンツ、製品、サービスの効果を測定するのをサポートします。

効果測定・分析サービスの提供にあたっては、Meta 製品上の利用者のアカウント全体で [収集した利用者に関する情報](#) を使用します。

Meta の効果測定・分析サービスは、[パートナー](#) に対して以下のような事柄を把握するのに役立てています。

- 投稿、動画、Facebook ページ、商品リスト、ショップ、広告 ([Meta Audience Network](#) を利用するアプリを通じて表示されるものを含みます) を含め、製品、サービス又はコンテンツを閲覧し、やり取りした人の数
- コンテンツ、ウェブサイト、アプリ、サービスとどのようにやり取りするか
- コンテンツとやり取りしたり、サービスを利用したりする [人々のタイプ](#)
- Meta 製品への接続のためのパートナーの製品及びサービスの利用状況、接続及びネットワークのパフォーマンス、利用者の体験

また、Meta が収集した情報をビジネスサービスの提供のために使用します。

利用者とのコミュニケーション

Meta は、プロフィールに入力いただいた連絡先情報など、利用者からご提供いただいた情報を用いて、利用者に連絡を取ります。

Meta は、さまざまな方法で利用者に連絡します。例えば以下のとおりです。

- 利用者が使用していると Meta が認識している製品に関するメッセージを、アカウントに登録されているメールアドレスを使用して送信します。
- 利用者の設定に応じて、利用者が関心を持ちそうな製品についてのマーケティングに関する連絡を送信します。
- Meta 製品の利用状況などに基づき、調査への参加を依頼します。
- Meta のポリシーや利用規約についてお知らせします。
- 質問についてお問い合わせいただいた場合、メールに返信します。
- 利用者が直接又は[第三者](#)を通じて Meta 製品に関する質問又は懸念を有する旨を Meta にお伝えいただいた場合、カスタマーサポートのコミュニケーションを促進します。

また、利用者が Meta からのメールを開封するかなど、Meta からのメッセージに対する利用者のやり取りに関する情報も使用します。これにより、利用者に連絡する最善の方法や、Meta のコミュニケーションが役立っているかどうかを理解するのに役立ちます。

公益目的での調査とイノベーション

調査の実施およびサポートを目的として、Meta が有する情報やリサーチャーから得た情報のほか、公開されているソース、専門家団体、非営利団体から得たデータセットを使用します。

Meta は、世界中の人々を支援するために調査・イノベーションを行っています。Meta の目標には以下が含まれます。

- 社会的利益及び公益への貢献
- 技術の進歩
- 安全、健康、ウェルビーイングの向上

Meta の調査の例をいくつか紹介します。

- 危機的状況において人々のグループがどこへ移動するかについて[情報を分析](#)します。これにより、救援団体が適切な場所に援助を届けることを支援します。
- ソーシャルメディアが選挙や民主的プロセスに与え得る影響をより良く理解するために、独立した研究者と協力しています。
- 農村地域でのインターネットアクセスと品質の向上を支援するために、学術研究者や業界の専門家と協力してきました。
- 人工知能や機械学習などの分野における研究を支援しています。

②

ログアウトしたユーザーの収集した情報がアカウントと一致する場合、Meta は、①の回答に記載されているとおり、Meta のプライバシーポリシーに記載されているとおりに情報を処理する場合があります。収集した情報がアカウントと一致しない場合は、③の回答をご覧ください。

③

Meta のプライバシーポリシーは一般に公開されており、たとえアカウントを持たずに Meta のサービスを利用したりコンテンツを閲覧したりするユーザーがいたとしても、Meta はそのようなユーザーに対し、収集される可能性のある情報とその目的を通知します。Meta のプライバシーポリシーには、そのような非利用者のために特定のポップアウトが含まれており、どのようなデータが収集されるか（上記設問 1-1 に記載のとおり）、また、収集した情報を Meta がどのような目的で使用するかを容易に理解できるようになっています。この目的には、以下のセキュリティ、安全性及び完全性、広告、並びにパフォーマンスの目的が含まれます。

Meta 製品のセキュリティ

		例えば、Meta は、トラフィックで Meta のサーバーに過大な負荷をかけるといったシステムへの攻撃の試みをモニタリングするために情報を取得します。また、アカウントのない者が多量のページを読み込もうとしている場合、Meta の規約に違反した形でサイトをスクレイピングしようとしている可能性があります。この場合、Meta はそれを阻止するために措置を講じることができます。 安全と保全性 Meta は、Meta 製品とやり取りするアカウントのない者に対し、コミュニティ規定に従って措置を講じることができます。例えば、死亡や差し迫った身体的危害が生じる真の危険があると考えられる場合には法執行機関に情報を共有することができます。 広告 例えば、アカウントのない者も、Meta 製品の登録ユーザーであることを Meta が認識できない場合、別のアプリにアクセスした際に、Meta Audience Network を通じた Meta の製品 の広告が表示される場合があります。 パフォーマンス 例えば、さまざまな国における Meta ページの読み込み速度や、それがうまく動作しているかどうかを測定することなどを目的として、アカウントを持たずに Meta 製品を利用する人についての情報も取得します。これにより、ローカルネットワークの問題を特定し、修復しやすくなります。
1-2-2. [1-2-2]	青少年や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報の取扱いに係る配慮	※青少年・こどもや高齢者等の脆弱な個人の利用者情報について、特に、ターゲティングやプロファイリングに利用しない、プライバシーポリシー等で説明方法を工夫している、ペアレンタルコントロールを設定している等、通常の成人とは異なる配慮を行っている場合には、どのような取組を行っているかにつ

いてご記載ください。また、この場合、脆弱な個人であることをどのように判断しているか（年齢確認の手法など）についてもご記載ください。

この質問は、特にターゲティングやプロファイリングに関連して、子どもや高齢者など弱い立場にある個人を保護するためにどのようなアプローチが取られているかを尋ねている、ならびに保護措置の説明を求めていると理解しました。

①、②、③について、2025 年モニタリング依頼の設問 1-2-2 に対する Meta の回答（2024 年モニタリング依頼の設問 1-2-2 に対する Meta の回答を参照しています）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。

①

未成年者やオンラインサービスの若いユーザーを保護することは、Meta にとって最も重要なことです。未成年者はデジタルの世界にアクセスする必要があり、学習、遊び、自己表現、コミュニティの構築、社会変革の推進など、数え切れないほど多くの恩恵をもたらします。また、未成年者がオンラインの世界に参加することで、彼らが成長し大人になっていく過程で、自信を持ってデジタルの世界に関わっていくために必要なスキルや経験が培われます。しかしながら、未成年者にとってのこれらの利点は、未成年者の安全を守るための合理的な保護措置がある場合にのみ可能となります。

そのために、Meta は、技術、規範及び危害のリスクの変化に合わせて、青少年のユーザーを保護するためのアプローチを大幅に進化させ続けています。プライバシー、安全性、およびウェルビーイングを検討するために全体的なレンズを適用することによって、Meta は若者を安全に保ち、オンラインでのデータの決定について情報を提供することを優先し、デフォルトや同様の年齢に応じたセーフガードで若者をサポートし、私たちのプラットフォームを利用する最も若い人々がオンラインと仮想空間の両方で健全で安全な習慣を身につけるのを助けるためのツールやリソースで保護者に力を与えます。

Meta は、ティーンが安全で前向きな体験ができるよう支援し、親がティーンに境界線を設定する簡単な方法を提供するために、数多くのツール、機能、リソースを構築してきました。時間の経過とともに、その一部は改善されたり、他の機能と統合されたりしてきました。[タイムライン](#)は、Meta がアプリやテクノロジー全体で発表してきた多くのツールや機能のスナップショットを提供しています。これらのツールや機能の詳細、及びその仕組みについては、[Instagram 保護者ガイド](#)及び[ファミリーセンター](#)をご覧ください。けるほか、サポート的なオンライン体験に関する追加リソースは保護者向けの[リソースハブ](#)に掲載されています。

Meta は、Instagram において「ティーンアカウント」をグローバルに展開しました。これは、保護者にガイドされた、ティーン向けの新しい体験です。ティーンアカウントは、13 歳から 17 歳までのティーンが利用するアカウントで、より保護的なティーン安全設定に自動的に設定されます。これらの設定は、望ましくない接触を制限し、年齢に適したコンテンツを表示し、Instagram 上での時間管理を支援することで、ティーンの安全を守ることを目的としています。16 歳未満のティーンが内蔵された保護機能をより緩い設定に変更するには、親の許可が必要です。

前回のモニタリング依頼以降、以下の主要な更新が行われました。

- **ティーンアカウントの Facebook 及び Messenger への拡大：**Meta は、Facebook ティーンアカウントを展開し、13 歳から 17 歳のティーンが保有するアカウントに自動的に適用される内蔵保護機能を提供しています。これには、より厳格なデフォルトのプライバシー設定、DM でティーンに連絡できる相手の制限、若年層に不適切とみなされるコンテンツの自動フィルタリング、及び夜間の通知サイレントが含まれます。
- **追加の内蔵制限：**16 歳未満のティーンは、親の許可なしにライブ配信を行ったり、DM における望ましくない画像からの保護をオフにしたりすることができなくなります。

- **13+コンテンツ設定**：ティーンアカウントを基盤として、ティーンアカウントはデフォルトで13+コンテンツ設定に基づいて運用されるようになりました。これにより、ティーンがInstagram及びFacebookで目にするコンテンツは、13歳以上を対象とした映画で見られるものと同様のものとなります。
- **端末上のヌードコンテンツ保護**：Instagram DMで受信した画像にヌードが含まれていることが検知された場合にぼかしを適用し、センシティブな画像を送信する際に注意を促し、送受信双方にリスクについて啓発する機能です。この機能は、18歳未満のティーンに対してデフォルトでオンになります。

保護者の監視ツール：Facebook及びMessenger全体でティーン向けに提供され、保護者が1日の利用時間制限やティーンがアプリを使用できないブロック時間を設定できるほか、内蔵保護機能への変更を承認又は拒否することができます。

ティーンアカウントの内蔵保護機能には以下が含まれます。

- **プライベートアカウント**：デフォルトのプライベートアカウントでは、ティーンエイジャーは新しいフォロワーを承認する必要があり、そのユーザーをフォローしていない者はそのユーザーのコンテンツを閲覧したり、やり取りしたりすることができません。これは、16歳未満のすべてのティーンエイジャー（既にInstagramを利用しているユーザー及び新規登録するユーザーを含みます）および18歳未満のティーンエイジャーがアプリにサインアップする際にも適用されます。
- **メッセージ制限**：ティーンエイジャーは最も厳格なメッセージ設定に自動的に設定され、フォローしている人や既に繋がっている人からのみメッセージを受け取ることができます。
- **センシティブコンテンツの制限**：ティーンエイジャーは、センシティブコンテンツ（例えば、人々が争っているシーンや美容手術を促進するコンテンツなど）を

「検索」や「リール」などの場所で閲覧する際に、Meta のセンシティブコンテンツの制限について自動的に最も厳格な設定に設定されます。

- **インタラクションの限定**：ティーンエイジャーは、フォローしているユーザーからしかタグ付けやメンションを受けることができません。また、いじめ防止機能「Hidden Words」の最も制限の厳しいバージョンを自動的に有効化し、10 代のユーザーのコメントや DM リクエストから攻撃的な言葉やフレーズをフィルタリングします。
- **時間制限のリマインダー**：ティーンエイジャーは、1 日あたり 60 分間の利用後、アプリを退出するよう通知を受けます。
- **スリープモードの有効化**：スリープモードは午後 10 時から午前 7 時まで有効になり、夜間は通知をミュートし、DM への自動返信を送信します。

広告

私たちは、特に購入可能な商品を表示する場合、10 代の若者は自分のオンラインデータが広告にどのように使用されるかを決定する能力が、必ずしも大人ほど高くないことを認識しています。Facebook と Instagram の最低年齢は 13 歳であり、18 歳未満のユーザーに対しては、広告について特別な措置が取られています。

例えば、プライバシーセンターでは、10 代の若者が提供されるサポートやリソースを簡単に理解できるよう、Instagram、Facebook、Meta Quest で 10 代の若者のプライバシー体験がどのように異なるかを説明した 10 代専用の[ガイド](#)を用意しています。このガイドには、ティーンエイジャーにとって広告がどのように異なるかについての説明や、ティーンエイジャーがどのようにプライバシー設定を見直し、セーフガードについて学ぶことができるかについての説明が含まれており、[こちら](#)からご覧いただけます。

②および③

		すべてのユーザー（ログアウトしている場合やアカウントを持っていない場合でも）は、こちらに記載されている Meta 製品へのアクセス、サポート、および 10 代の若者のために提供されるリソースに関する情報にアクセスできます。アカウントを持たないユーザーは、Meta 製品の多くにアクセスできないため、一部の管理（上記の「Meta の年齢相応の保護措置」）は、当該 Meta 製品にログインしているユーザーの経験にのみ関連するため、関連しません。
1-3. [1-3] ※下線部追加	利用者情報の第三者提供の状況	① ② ③ <u>※誰に対して、何の目的で、どのような情報を提供しているのか。また、利用者からどのように同意を取得しているかについてご記載ください。</u> ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 この質問は、Meta が利用者から直接収集した情報のうち、どのような情報を第三者に提供しているか、誰に、どのような目的で提供しているか、また利用者の同意をどのように取得しているかについて問うものと理解しました。 ① ② および ③ 2025 年モニタリング資料設問 1-3 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 1-3 に対する回答および 2023 年モニタリング資料設問 1-3 に対する回答を参照）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。 ①

Meta のプライバシーポリシーは、「[第三者とどのように情報を共有しますか？](#)」のセクションにおいて、情報を共有する第三者の種類、それぞれと共有する情報の種類、およびその目的を開示しています。

Meta は、一定の情報を次のような第三者と共有します：

- Meta の製品上に広告を表示する広告主
- Meta の製品のマーケティングのために雇用する企業
- 顧客サービスの提供や調査の実施などのために雇用する企業
- 技術革新、技術の進歩、人々の安全性の向上などのために情報を使用する研究者

現在から将来にわたり、いかなる相手に対しても、利用者の情報を販売することはありません。Meta の[パートナー](#)およびその他の[第三者](#)は、Meta が提供する情報の使用および開示の可否に関する Meta の規則に従わなければなりません。

広告主

Meta は広告主に、広告および商業的コンテンツを見てエンゲージメントした利用者の数と種類に関するレポートを提供します。これらのレポートには、広告主の広告または商業的コンテンツにエンゲージメントした利用者の一般的な属性情報や興味・関心に関する情報が含まれます。これにより、広告主はオーディエンスをより良く理解することができます。

Meta はまた、広告主およびそのベンダーに以下の情報を提供します：

- 利用者がエンゲージメントした広告および商業的コンテンツ（ある場合）
- 利用者が広告および商業的コンテンツにエンゲージメントした時期

- 当該広告または商業的コンテンツが表示された場所（例：Instagram 上または Facebook 上）

Meta はまた、利用者が閲覧した広告または商業的コンテンツのうち、広告主に対するアクション（例：広告主のアプリのダウンロード）につながったものを確認します。ただし、利用者の氏名やメールアドレスなど、それ単体で利用者に連絡したり特定したりできる情報は、利用者が[許可を与えた](#)場合を除き、これらの広告主およびそのベンダーと共有しません。

Audience Network のパブリッシャーおよびそのベンダー

Meta Audience Network を利用すると、広告主は Meta を通じて Meta 以外のアプリやウェブサイト広告に掲載できます。

利用者のアプリやウェブサイト上で広告を表示するために、Meta は Audience Network を利用するパブリッシャーおよびその利用を促進するベンダーと情報を共有します。例えば、以下の情報を共有します：

- パブリッシャーのアプリ上で広告を見てエンゲージメントした利用者の数
- パブリッシャーのアプリ上で広告を配信する[リクエスト](#)に関連する、またはそれに応じた情報

ただし、利用者の氏名やメールアドレスなど、それ単体で利用者に連絡したり特定したりできる情報は、利用者が[許可を与えた](#)場合を除き、これらのパブリッシャーおよびそのベンダーと共有しません。

Meta の分析サービスを利用するパートナー

人々は、ビジネスを運営し宣伝するために、ビジネスアカウント、プロフェッショナルツール、Facebook ページなどの Meta の [製品](#) を利用しています。企業は、利用者がそのコンテンツ、機能、製品、サービスをどのように利用しているかをより良く理解するために、Meta の分析サービスを利用しています。

これらのサービスを提供するために、Meta は利用者について [収集した情報](#) を使用します。Meta はこの情報を集計レポートにまとめ、パートナーがそのコンテンツ、機能、製品、サービスのパフォーマンスを確認し、当該コンテンツ、製品、サービスに対する利用者のエクスペリエンスなどを理解できるようにします。

これらのレポートは、以下のような情報を集計したものです：

- Meta のパートナーのコンテンツ、製品、サービスに対してインタラクションした利用者の数
- インタラクションした利用者の [一般的な属性情報および興味・関心](#)
- 利用者が Meta のパートナーの製品やサービスを Meta 製品に接続するためにどのように利用しているか、およびその接続とネットワークのパフォーマンス

統合パートナー

利用者が統合パートナーの製品またはサービスを使用することを選択した場合、統合パートナーは利用者およびその活動に関する情報を受け取る場合があります。そのポリシーの詳細は [こちら](#) をご覧ください。

測定ベンダー

Meta がすべての測定・分析レポートを自ら作成しているわけではありません。

Meta は、[測定ベンダー](#)と情報（利用者が広告を見たか、またはエンゲージメントしたかなど）を共有し、ベンダーはそれを集計・編集してレポートを提供します。

例えば、広告主が測定ベンダーに対し、Facebook 上の広告が売上にどのような影響を与えたかを分析するよう依頼する場合があります。測定ベンダーは、広告主の Facebook 広告のクリックに関する Meta からの情報と、広告主からの製品購入に関する情報を比較します。そして、測定ベンダーは広告のパフォーマンスを示す集計レポートを作成し、広告主に提供します。

マーケティングベンダー

Meta は、利用者に関する情報を[マーケティングベンダー](#)と共有します。例えば、利用者のデバイス識別子やその他の識別子をマーケティングベンダーと共有し、利用者の興味・関心に最も関連性の高い広告を配信できるようにします。

マーケティングベンダーは、以下の方法で Meta のマーケティングおよび広告活動を支援します：

- モバイル、デスクトップ、コネクテッドテレビデバイスを含むインターネット全体で Meta の広告を配信
- オンラインおよびモバイルアプリでの活動を追跡・分類
- 興味・関心、コミュニティ、広告インタラクションに関する情報を Meta に提供

これらのマーケティングベンダーは、Meta の広告に最も関心を持つ可能性のある利用者を把握し、Meta のどの製品に興味を持つかを理解する上で役立ちます。この情報は、利用者に表示する Meta の広告をパーソナライズするために使用される場合があります。マ

マーケティングベンダーはまた、この情報を使用して Meta のマーケティング活動への反応および広告の効果を測定します。

サービスプロバイダ

サービスプロバイダは、Meta が利用者に製品を提供するためのサービスを Meta に提供します。Meta は、これらのサービスを受けるために保有する情報を共有します。これらのサービスには以下が含まれます：

- 不審な活動の調査
- Meta の人員および財産に対する脅威の検知と阻止
- 支払いの円滑化
- カスタマーサポートの提供
- Meta 製品の機能の改善
- 技術インフラサービスの提供
- Meta 製品の利用状況の分析
- 調査・研究の実施
- Meta 製品のマーケティングおよびプロモーション

外部研究者

Meta は外部研究者に情報を提供します。外部研究者は、学問とイノベーションを促進し、安全性、セキュリティ、および誠実性を推進する研究を実施するためにこれを使用します。

研究目的には以下の支援が含まれます：

- Meta の事業またはミッション

- 社会的利益
 - 技術の進歩
 - Meta 製品における安全性とセキュリティ
 - 公共の利益
 - 健康とウェルビーイング
-

外部研究者と情報を共有する際、Meta は利用者のプライバシーが保護されることを確保します。

AI 統合

Meta の機能を動作させる生成 AI モデルは、最も完全または最新の情報を保有していない場合があります。例えば、利用者が Meta AI に昨日のサッカーの試合のスコアについて質問した場合、正しい答えを知らない可能性があります。そのため、Meta は検索エンジンプロバイダなどの厳選されたパートナーと連携しています。Meta は、利用者に最も関連性の高い情報を提供するために、これらのパートナーと特定の情報を共有する場合があります。

AI at Meta の一部である機能の中には、利用者の質問に回答し、利用者のためにアクションを実行するために外部ウェブブラウザを使用するものもあります。利用者がこれらの機能を使用する場合、リクエストに関連する情報がブラウザと共有されます。ブラウザは、利用者の情報を他の第三者とさらに共有する場合があります。

利用者はまた、AI at Meta の一部である Meta の機能を含む Meta 製品でのエクスペリエンスを向上させるために、第三者のアプリやサービスを Meta アカウントに接続することを選択できます。利用者がこれらのアプリやサービスに接続する場合、利用者は Meta にそれらとの情報交換を要請することになります。Meta は、プライバシーポリシーに記載されていると同様の方法で、利用者およびその他の人々に関するこの情報を使用し、

利用者のために当該第三者アプリおよびサービスに関するアクションを実行するために情報を共有することができます。

その他の第三者

Meta はまた、法的要請への対応、適用法令の遵守、または危害の防止のために、他の[第三者](#)と情報を共有します。ポリシーの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

また、Meta の事業の全部または一部を他者に売却または譲渡する場合、法律で認められる範囲において、当該取引の一部として新しい所有者に利用者情報を提供する場合があります。

②

ログアウトした利用者について収集した情報が当該利用者のアカウントと照合された場合、Meta は①の回答に記載されているプライバシーポリシーに基づく第三者に情報を提供することがあります。収集した情報がアカウントと照合されない場合は、③の回答をご参照ください。

③

Meta のアカウントを保有していない利用者については、上記の設問 1-2-1 に対する回答をご参照ください。当該回答において、Meta のプライバシーポリシーには非ユーザー向けの特定のポップアウトが含まれており、収集されるデータおよび Meta が収集した情報を使用する目的（セキュリティ、安全性、誠実性、広告、パフォーマンスの目的を含む）が容易に理解できるようになっていることを説明しています。

1-4. [1-4] ※下線部追加	広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況	① ② ③ <u>※広告ビジネスのために、どのような情報を、どのように利用しているかについてご記載ください。</u> ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 この質問は、利用者から直接収集した情報のうち、どのような情報が広告に使用され、どのように使用されるかを尋ねるものと理解しました。 ①、②、③について、2025 年モニタリング資料設問 1-4 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 1-4 に対する回答を参照するもの）をご覧ください。以下にその内容を転記し、関連する箇所については更新しております。 広告を表示することは Meta 製品の使用体験の一部であるため、利用者が目にするすべてのものが利用者にとって興味深く、有用であることを望んでいます。プライバシーポリシーに記載のとおり、利用者に何を表示するかを決定するために、Meta は利用者から直接収集した情報を使用します。これには、利用者のプロフィール情報、Meta 製品上でのアクティビティ、Facebook および Instagram で作成またはやり取りするコンテンツ、利用者について推測される事項（利用者が興味を持つ可能性がある Meta が考えるトピックなど）、友人、フォロワー、その他のつながりに関する情報、および AI at Meta とのやり取りが含まれます。前回のモニタリングリクエスト以降、Meta はプライバシーポリシーを更新し（2025 年 12 月 16 日発効）、AI at Meta とのやり取り（例：AI at Meta と共有されたプロンプト、メッセージ、およびメディア）を体験や広告のパーソナライズに使用する場合があることを開示しました。センシティブなトピック（宗教、健康、
----------------------------------	------------------------------	--

政治、性的指向)に関する AI チャットは、広告ターゲティングに使用されません。これらのルールは日本のユーザーにも適用されます。

Meta はプライバシーポリシーおよびその他の投稿において、利用者に表示する内容の決定に自身の情報がどのように使用されるかを利用者が理解できるよう、詳細な情報を提供しています。Meta のプライバシーポリシーでは、広告システムの仕組みについて以下のとおり段階ごとのガイドを記載しています：

- **Meta は、利用者の情報を使用して、利用者にとって最も関連性の高い広告の興味・関心を判断します。** Meta は、保有する情報（広告設定で利用者が行った選択を含む）に基づき、利用者の広告の興味・関心を予測します。
- **広告主は、最も興味を持つと考える人に基づいて、リーチしたいオーディエンスを Meta に伝えます。** これには、広告主が広告を表示したい年齢、性別、場所、または興味・関心（例えば、ダブリン在住のゴルフが好きな女性など）が含まれます。
- **Meta は、最も関連性の高い広告を特定するために、利用者に表示できる可能性のある広告を審査します。** Meta の広告システムは、広告主がリーチしたいオーディエンスに利用者が該当する可能性のあるすべての広告を自動的に審査します。例えば、利用者が年齢層や興味・関心のカテゴリーに一致するために、広告候補が表示される場合があります。Meta は、広告主の目標を最も達成し、利用者にとって最も関連性が高いかどうかなどに基づいて、どの広告を表示するかを決定します。そのために、Meta はアルゴリズムおよび機械学習を使用して、利用者に表示する可能性のある広告の順序を決定します。Meta は、広告の品質、広告主が望むオーディエンスおよび予算など、さまざまな要素を使用します。また、Meta 製品上での利用者のアクティビティなどに基づき、利用者が広告に反応する可能性がどの程度あるかも考慮します。[詳しくはこちら](#)。

- こうした情報はすべて、Meta が利用者にとって最も関連性の高い広告を表示するのに役立ちます。 利用者が Meta 製品上で広告を見るとき（例：Facebook 上のフィード）、Meta はこのプロセスを使用して、利用者に表示する最も関連性の高い広告を選択します。
-

②

ログアウトした利用者から収集された情報がそのアカウントと一致する場合、Meta は①の回答に記載されたとおりに当該情報を使用します。収集された情報がアカウントと一致しない場合は、③の回答をご参照ください。なお、ログアウトした利用者はニュースフィードにアクセスできないため、Facebook や Instagram などの Meta 製品のニュースフィード上で広告が表示されることはありませんが、[Meta Audience Network](#) を通じてサードパーティのアプリ上で広告が表示される可能性があります。

③

上記の設問 1-1 および 1-2-1 に対する回答に記載のとおり、Meta のプライバシーポリシーでは、アカウントを持たないユーザーに対して、Meta 製品とやり取りする際に収集される可能性のある情報について通知しています。例えば：

- Facebook ページ、動画などの公開コンテンツへの訪問に関するブラウザおよびアプリのログ
 - Meta のアプリをダウンロードした[デバイス](#)に関する基本情報（デバイスモデルや OS など）
-

さらに、Meta のプライバシーポリシーでは、かかる情報が広告目的で使用される可能性があることを説明しています。例えば、Meta 製品の登録ユーザーとして認識できない場

		合、Meta Audience Networkを通じてサードパーティのアプリ上で Meta カンパニー製品の広告が表示される可能性があります。
1-5. [1-6] ※下線部追加	非ログイン時に取得した情報のアカウント情報への紐付けの有無及びプライバシーポリシー等での記載状況	② ※アカウントを保有している利用者が、非ログインでサービスを利用した場合に取得した情報を、当該利用者の保有するアカウントと紐付けているか否か、紐付けている場合にはプライバシーポリシーにその旨をどのように記載しているかについてご記載ください。 <u>※非ログイン時も紐付けしている場合、どのような情報及び仕組みを用いて紐付けがされているのかをご記載ください。</u> この質問は、以下について尋ねるものと理解しました：(i) ユーザーがアカウントにログインしていないときに取得された情報が、そのアカウントを保有するユーザーに紐付けられるか否か、(ii) プライバシーポリシーにおいて情報がそのような形で紐付けられることを告知しているか否か、(iii) 紐付けを行うためにどのような情報および仕組みが使用されているか。 ①、②および③ 2025 年モニタリング資料設問 1-6 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 1-6 に対する回答を参照するもの）をご覧ください。以下に関連する部分を転記し、必要に応じて更新しております。 ①、②および③ 広告主からビジネスツールを通じて行動情報が送信された場合、Meta はログイン・ログアウトの状態に関わらず、ユーザーID との照合を試みます。Meta は、ビジネスツールを

通じて受け取った行動情報を登録ユーザーに結び付けますが、ビジネスツールから受け取った情報を使用して非ユーザー（すなわちアカウントを持たないユーザー）のプロファイルを作成することはありません。非ユーザーが Facebook にアカウントを登録した場合、その時点から Facebook ユーザーとして扱われ、Meta はその後にビジネスツールを通じて受け取った行動情報の照合を試みます。

マッチングされなかったイベントデータ（広告主から送信された非ユーザーの行動情報を含む場合があります）は、集計され機械学習モデルで使用される場合がありますが、Meta は、サードパーティからビジネスツールを通じて受け取った、登録ユーザーと照合できないアクティビティ情報を使用して、アカウントを持たないユーザーのプロファイルを作成することはありません。Meta のプライバシーポリシーでは、パートナーから提供される情報について以下のように記載しています：

- 「[パートナー](#)は、利用者のメールアドレス、[Cookie](#)、広告デバイス ID などの情報も Meta と共有します。これにより、Meta は利用者のアクティビティを利用者のアカウント（お持ちの場合）と照合することができます。
- あなたが Meta 製品にログインしているかどうか、または Meta 製品のアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta はこうした情報を受け取ります。パートナーからの情報を利用者のアカウントにどのように結び付けるかについて、[詳しくはこちら](#)をご覧ください。」

パートナーはまた、自社のビジネスにサービスを提供するよう Meta に指示する場合（例えばコミュニケーションの管理を支援する場合）、ユーザーとのコミュニケーション内容を Meta と共有します。さらに、利用者はプライバシーポリシーから[ヘルプセンターの記事](#)にアクセスし、パートナーが共有した情報がどのように利用者のアカウントに結び付けられるかについて詳しく確認することができます。

さらに、プライバシーポリシーの「Meta が利用者の情報を処理する理由と方法」セクション内の「広告のパーソナライズのためのサードパーティからの情報の利用」というサブセクションにおいても、パートナーから取得し利用者に紐付けた情報を広告のパーソナライズに使用すること、およびそのような情報は利用者がログインしているかどうかにかかわらず取得されることを再度説明しています：

「利用者に合った広告の表示を目的としたサードパーティからの情報の入手と使用：Meta は、広告主、企業、その他のパートナーが Meta 社製品以外でのアクティビティに関して Meta に提供し、Meta が利用者に紐付けた情報を使用して、Meta 製品上、および Meta の広告サービスを利用するウェブサイト、アプリ、デバイス上で利用者に表示する広告をパーソナライズします。あなたが Meta 製品にログインしているかどうか、または Meta 製品のアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta はこうした情報を受け取ります。詳しくは [Cookie ポリシー](#) をご覧ください。」

最後に、他の企業からのアクティビティが利用者の体験のパーソナライズにどのように使用されるかについて、利用者自身が管理できることを付言します。Meta は「他の企業からのアクティビティ」設定を拡張しました。この設定により、企業が Meta と共有するデータを Meta が利用者の体験のパーソナライズにどのように使用するかを、利用者が管理できるようになりました。これは以前の「Meta 技術以外でのアクティビティ」設定に代わるものです。詳しくは [パーソナライズの改善と他の企業からのアクティビティに関するコントロールの変更](#) をご覧ください。

2. 利用規約・プライバシーポリシー

※以下の3つのパターンについて、差異が分かるように回答すること。内容に差異がない場合は、その旨回答すること（例：①と同じ、等）。

- ①アカウントを保有している利用者が、ログインしてサービスを利用・閲覧する場合
- ②アカウントを保有している利用者が、ログインせずにサービスを利用・閲覧する場合
- ③アカウントを保有していない利用者が、サービスを利用・閲覧する場合

プライバシーポリシー等

2-1.
[2-1]
※TikTok
社のみ

利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーでの記載箇所

①
②
③
※①～③での利用者情報の取扱い（取得する情報の内容、利用目的、共有先等）の差異について、プライバシーポリシーにおいてどのように書き分けているか、記載箇所をお示しください。また、ログインせずに利用する場合や、アカウントを保有せず利用する場合であっても、利用者情報を取得・利用することがある旨をプライバシーポリシーにおいて明示している場合には、その箇所を具体的にお示しください。
※プライバシーポリシーのほか、アカウントを保有していない利用者に対して、利用者情報の取扱いについて説明を行っている場合は、説明の方法と説明の内容をご記載ください。

①②及び③ 2025 年モニタリング要請の質問 2-1 に対する回答（2024 年モニタリング要請の質問 2-1 に対する回答及び 2023 年モニタリング要請の質問 2-1 に対する回答を参照）をご参照ください。関連する部分について以下に再掲し、必要に応じて更新しています。

①及び③

Meta のプライバシーポリシーは、Facebook、Instagram、Messenger および Meta が提供するその他の製品・機能（Meta 製品または製品）をサポートするために Meta が処理す

る情報について説明しています。Meta のプライバシーポリシーは以下のリンクからご覧いただけます：<https://www.facebook.com/privacy/policy>

さらに、[日本プライバシーポリシー](#)では、「アカウントをお持ちでない場合でも、お客様に関する一部の情報を収集します」とユーザーに通知し、追加の詳細を提供しています。Meta のプライバシーポリシーの「[どのような情報を収集しますか？](#)」の見出しをご参照ください。

② ログインしていないユーザーについて、プライバシーポリシーは、ユーザーがログアウトしている場合にも情報が収集される可能性があることを示しており、パートナーから提供される情報に関して以下のとおり記載しています：

- 「[パートナー](#)」は、お客様のメールアドレス、[Cookie](#)、広告デバイス ID などの情報も Meta と共有します。これにより、お客様にアカウントがある場合、お客様の活動とアカウントを紐付けることができます。
- Meta は、お客様が Meta 製品にログインしているかどうか、またはアカウントをお持ちかどうかに関わらず、この情報を受け取ります。
- パートナーは、自社のビジネスへのサービス提供（コミュニケーション管理の支援など）を Meta に依頼する場合、お客様とのコミュニケーションも Meta と共有します。企業がお客様の情報をどのように処理・共有しているかについては、当該企業のプライバシーポリシーをお読みいただくか、直接お問い合わせください。」

Meta の [Cookie ポリシー](#) も公開されており、以下のとおり記載しています：

「Cookie はどこで使用されますか？

Meta は、お客様が以下を利用またはアクセスする際に、お客様のコンピューターまたはデバイスに Cookie を配置し、Cookie に保存された情報を受け取ることがあります：

- [Meta 製品](#)
- その他のメンバーが提供する製品、及び
- Meta 製品を利用する他の企業が提供するウェブサイト及びアプリ（Meta 技術を自社のウェブサイトやアプリに組み込んでいる企業を含む）。Meta は、お客様がこれらのサイトやアプリにアクセスした際に、お客様の側で追加の操作を行うことなく、[デバイス情報](#)やお客様の活動に関する情報を含め、Cookie を使用し、情報を受け取ります。これは、**お客様が Facebook または Instagram のアカウントをお持ちかどうか、もしくはログインしているかどうかに関わらず行われます。**
〔強調追加〕

さらに、サードパーティパートナーが Meta ビジネスツールを通じて Meta と共有する情報（すなわち「ビジネスツールデータ」）について、当該ビジネスツールを使用するサードパーティのアプリ及びウェブサイトは、①から③の各場合について、ユーザーに対して通知を行い、必要な同意を取得しているべきです（詳細については、以下の質問 2-2 に対する回答をご参照ください）。

上記の質問に対する回答に加え、Meta 製品を使用していない方についても、その個人情報がどのように処理される可能性があるかを開示しています。Meta は、非ユーザー向けの追加通知「[Meta 製品を利用していない方への情報](#)」においてこの情報を提供しており、同通知では、「Facebook、Messenger または Instagram で利用可能な連絡先アップロードまたは連絡先同期機能を通じて Meta のユーザーから受け取った場合の、お客様の氏名、携帯電話番号、及び／又はメールアドレス」を Meta がどのように処理するかを非ユーザーに説明しています。

2-2. [2-2]	サービス利用開始前の利用者への示し方、通知/同意取得の方法（導線、ステップ数等）	① ② ③ ※アカウントの作成時や、サービスの利用開始にあたり、あらかじめプライバシーポリシーを確認できるようになっているか、プライバシーポリシーへの導線がどのようなになっているか、通知ベースでの提示のみか同意取得まで行っているのか、同意画面までのステップ数がどの程度かについてご記載ください。ステップについては、対象サービスのトップページからのクリック数をご記載いただき、そのクリックごと（画面遷移を伴わず、メニュー開閉のみの場合を含む。）の画面表示のスクリーンショットを添付ください。また、①～③のそれぞれについて、通知/同意取得をどのタイミングで行っているかについてご記載ください。 この質問は、(i) サービスを提供する前にユーザーにプライバシーポリシーをどのように通知するか、(ii) サインアッププロセスをステップ実行するために必要なクリック数を述べること、(iii) 各画面のスクリーンショットを提供すること、を問うものと理解しました。 ①、②および③について、2024 年モニタリング資料の設問 2-2 に対する回答（2023 年モニタリング資料の設問 2-2 に対する回答を参照しています）をご覧ください。以下にその内容を転記し、関連する箇所を更新しております。 要約すると、以下に説明するように、Meta は登録ユーザーが Meta のサービスにサインアップする際に通知を行います。これには①および②のユーザーが含まれます。さらに

後述するように、登録されていない③のユーザーについては、Meta のプライバシーポリシーは一般に公開されており、アカウントを持たないユーザーに対してどのような情報がどのような目的で収集される可能性があるかを通知する特定のセクションが含まれています。

さらに、①から③の各ケースにおいて、Meta のビジネスツールを通じて Meta のサードパーティパートナーから Meta と共有される情報（すなわち「ビジネスツールデータ」）については、当該ビジネスツールを使用するサードパーティのアプリおよびウェブサイトが通知を行い、必要な同意を取得しているべきものです。これは、Meta がすべての当該サードパーティパートナーに対し、データを収集し共有するために必要な権利および許可ならびに合法的な根拠を有していることを表明し保証するよう求めているためです。さらに、特定の行為に関連して、Meta はサードパーティのアプリおよびウェブサイト追加の透明性およびその他の義務を課しています。Meta の[ビジネスツール利用規約](#)のセクション 1(e)には、サードパーティのアプリおよびウェブサイトに対する以下の義務が規定されています。

「【パートナー】は、自身（および自身が使用するデータプロバイダー）がビジネスツールデータの開示および利用のための必要な権利および許可ならびに適法な根拠を（適用されるすべての法律、規制および業界指針に従って）有していることを表明し保証するものとします。」

さらに、エンドユーザーのデバイスにクッキーまたはその他の情報を保存しアクセスすることを Meta に可能にするためのビジネスツールの使用に関して、セクション 3(c)-(d)には以下のように規定されています。

	「c. 利用者は、ビジネスツールデータの収集、共有および使用に関して、少なくとも以下の事項を含む、十分に目立つ明確な通知をユーザーに提供していることを表明し保証するものとします。 d. エンドユーザーのデバイスにクッキーまたはその他の情報を保存しアクセスすることについてインフォームドコンセントを義務付けている法域（欧州連合を含みますがこれに限りません）においては、利用者は、Meta ビジネスツールを使用してエンドユーザーのデバイスに Meta のクッキーまたはその他の情報を保存しアクセスすることを可能にする前に、検証可能な方法でエンドユーザーから必要なすべての同意を得なければなりません。（同意手段の実装に関する推奨事項については、Meta の Cookie の同意に関するリソースをご覧ください。）」 つまり、ビジネスツールデータが Meta と共有される前に、①から③の各ケースのユーザーは、サードパーティのアプリおよびウェブサイトから通知を受け、必要に応じてその同意が取得されているべきものです。 ①から③の各ケースにおける Meta からの通知の詳細については、以下をご参照ください。 ① Meta は、Meta のサービスのユーザーが自身の個人データがどのように使用されるかについて十分な情報を得られるよう、また、Meta と共有する情報を確認・管理できるようにするため、複数の手段を用いています。これにより、ユーザーは Meta のサービスに登録し利用する際に十分な情報に基づいた判断を行うことが可能になります。 すべてのユーザーが Meta による個人データの収集および使用について情報を得られるようにするため、Meta のプライバシーポリシーは、すべての新規ユーザーが初めて登録す
--	--

る前に提示されます。ユーザーは、初回サインアップ時に、関連する利用規約、プライバシーポリシー、および Cookie ポリシーを確認し同意するよう求められます。ユーザーが登録した後も、プライバシーポリシーは Facebook サービスのウェブサイト、Instagram のウェブサイト、ならびに Facebook サービスおよび Instagram のアプリ内メニューから容易にアクセスできます。

Facebook および Instagram は、ユーザーがアカウントを作成する際に必要なサインアップフローにおいて、個人情報の収集についてユーザーに通知しています。プライバシーポリシーは、ユーザーが Facebook にサインアップする際の最初のページにリンクされています。Instagram の場合、ユーザーは 8 つの画面をクリックする必要があります。以下にサインアップフローを示すスクリーンショットを掲載します。

② ログアウトしているユーザーもアカウントを登録していることを前提に、収集される情報およびその利用目的について、①と同様の方法で通知されます。プライバシーポリシーの一環として、ユーザーがログインしているか否かにかかわらず特定の方法で情報が収集されることが具体的に通知されています（上記の質問 1-1 に対する回答で述べたとおりです）。

③ 上記の質問 1-1 に対する回答で述べたように、Meta のプライバシーポリシーは一般に公開されており、Meta が収集し処理する情報は Meta 製品がどのように使用されるかによって異なるという事実をすべてのユーザーに通知しています。その内容は以下のとおりです。

「Meta が取得し処理する情報は、利用者が [Meta 製品](#) をどのように使用するかによって異なります。例えば、Marketplace で家具を販売する場合と、Instagram でリール動画を投稿する場合とでは、取得する情報は異なります。Meta 製品をご利用の場合には、[アカウントをお持ちでなくても](#)、Meta は利用者に関する一定の情報を取得します。」

Meta が収集する情報の詳細については、Meta のプライバシーポリシーの「[Meta が取得する情報](#)」の見出しをご覧ください。

Meta の [Cookie ポリシー](#) も一般に公開されており、以下のように記載されています。

「Cookie の利用場面

Meta は、利用者が次のサービスの利用やアクセスを行ったときに、利用者のコンピューターやデバイスに Cookie を配置し、Cookie に保存された情報を取得することがあります。

- [Meta 製品](#)
- [Meta グループ企業](#)に属する他の企業が提供する製品
- 自社のウェブサイトやアプリに Meta テクノロジーを統合している企業など、Meta 製品が利用されている他の企業が提供するウェブサイトやアプリ。Meta は、利用者がこれらのサイトやアプリにアクセスしたときに、利用者によるいかなる追加の行為がなくても、[デバイス情報](#)や利用者のアクティビティに関する情報などを受け取るために Cookie を使用します。**利用者に Facebook アカウントまたは Instagram アカウントがあるかどうか、またはログインしているかどうかにかかわらず、情報を受け取ることができます。**〔強調追加〕

サインアップフロー

1. Facebook（日本）
2. Instagram（日本）

Facebook および Instagram のサインアップフロー（EU、日本および米国）

Facebook（日本）

9:25 🌧

📶 📶 🔋

<



携帯電話番号またはメールアドレス

パスワード

ログイン

パスワードを忘れた場合

新しいアカウントを作成

Meta

9:26 🌧

📶 📶 🔋

<

Metaアカウントを作成するには
名前を入力してください

実名を入力してください。
Metaアカウントとは

姓

名

次へ

アカウントを検索

9:27 🌧

📶 📶 🔋

<

生年月日を入力してください

生年月日を選択してください。これは後からいつでも非公開にすることができます。[生年月日を入力していただく理由](#)

誕生日(31歳)
1995年8月3日

次へ

アカウントを検索





4:11



友達をすばやく見つけるには、連絡先へのアクセスを許可してください

Facebookでの友達に追加してもよい連絡先をアップロードして、友達の紹介や利用体験を改善しよう。

名前、電話番号、ニックネームなどあなたがアドレス帳で選択した連絡先情報がFacebookに送信されます。

選択した連絡先は、あなたのデバイスで更新されるとFacebookで定期的に更新されます。

この機能はオフにすることができ、共有した連絡先情報は設定からいつでも閲覧・削除できます。 [連絡先のアップロードについて詳しくはこちら](#)

次の画面で選択できます。

[次へ](#)

4:27



今すぐ友達を追加しよう



Mina Doroud

[追加](#)

Jackson Bryant-Comstock

[追加](#)

Shreya Sahoo

[追加](#)

Shrey Samdani

[追加](#)

Manvith Narahari

[追加](#)

Gordon Chang

[追加](#)

Keshav Rao

[追加](#)

Hannah Goldberg

[追加](#)[完了](#)

4:15



アカウントにメールアドレスを追加

Metaはあなたのメールアドレスをログインやお知らせの送信に使用します。

Metaはあなたのメールアドレスを友達とのつながりや広告表示の改善といった利用体験のパーソナライズに利用します。これはアカウントセンターでいつでも変更でき、プロフィールで他の人には表示されません。 [詳しくはこちら](#)

[メールアドレスを追加](#)[スキップ](#)

4:15



認証コードを入力

aalwani+q@meta.com に認証コードが送信されました。

確認

コードが届かなかった

Instagram (日本)

10:54

4G

<

携帯電話番号を入力してください

連絡が取れる携帯電話番号を入力してください。この情報はプロフィールで他の人には表示されません。

携帯電話番号

セキュリティやログインのために、WhatsAppやSMSでMetaから通知が届くことがあります。

次へ

メールアドレスで登録

10:55

4G

<

メールアドレスを入力

連絡が取れるメールアドレスを入力してください。この情報はプロフィールで他の人には表示されません。

メールアドレス

次へ

携帯電話番号で登録

q w e r t y u i o p
a s d f g h j k l
↑ z x c v b n m

11:11

4G

<

認証コードを入力してください

アカウントを認証するには、mizuki.hyuga@outlook.jpに送信された6桁のコードを入力してください。

認証コード

次へ

コードが届かなかった

1 2 3
4 5 6
7 8 9

[EXT] 036874 is your Instagram code



Instagram <no-reply@mail.instagram.com>

To ● Hyuga, Mizuki



10:55

If there are problems with how this message is displayed, click here to view it in a web browser.

Hi,

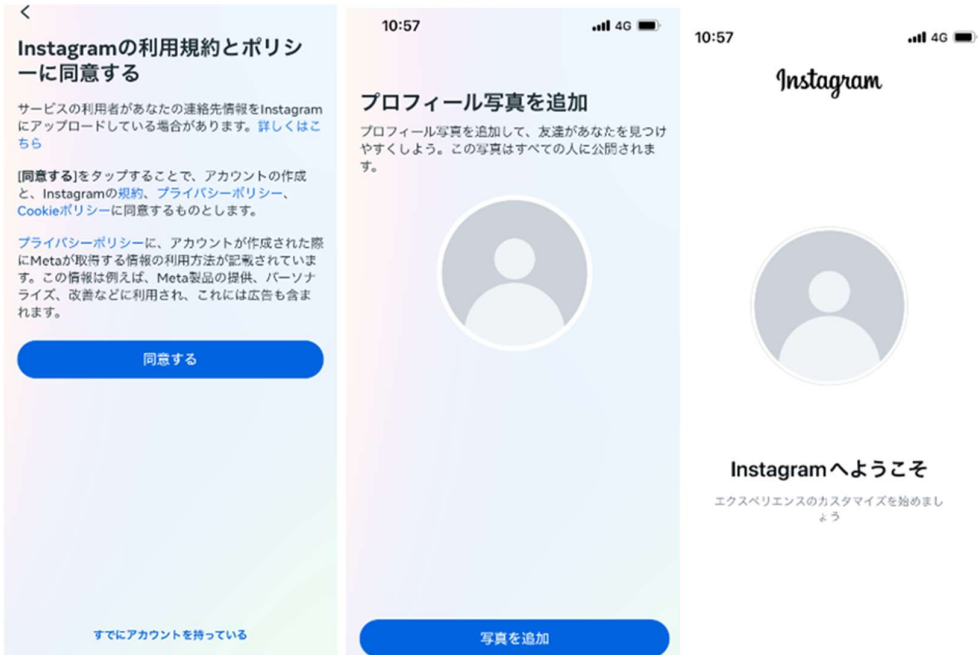
Someone tried to sign up for an Instagram account with mizuki.hyuga@whitecase.com. If it was you, enter this confirmation code in the app:

036874

from
 Meta





		
2-3. [2-3] ※下線部追加	プライバシーポリシー等に関する利用者の理解度等の把握状況及び理解の向上に資する取組（情報提供、周知・啓発活動等）の状況	※プライバシーポリシー等が利用者からどの程度読まれ理解されているかの把握の有無、その結果について（経年の推移がある場合はそれを含め）ご記載ください。また、その測定方法についてご記載ください。 ※また、利用者による理解度等の状況を踏まえどのような対応を行ったかご記載ください。 ※<u>プライバシーポリシー等に関する利用者の理解向上のために実施している具体的な取組の内容（例：概要版の提供、動画コンテンツ、イラスト等を活用し</u>

た周知・啓発等）についてご記載ください。また、当該取組について効果測定（例：閲覧数、視聴状況等）を実施している場合には、その方法および結果についても併せてご記載ください。

この質問は、Meta が、プライバシーポリシーが利用者にとって容易に理解できるものかどうかに関するフィードバックを取得し、審査しているかどうかについて問うものと理解しています。

Meta のプライバシーポリシーは、プライバシーの専門家、政策立案者、および Meta のサービスを利用する人々からのフィードバックを参考にしたものであり、Meta が使用するデータの強力な保護を反映するとともに、当該データの使用方法について十分な透明性を提供しています。

Meta は、利用者がプライバシーポリシーにどのように関与し、理解しているかを把握するために、多面的な測定手法を採用しています。

- 利用者行動指標：Meta は、プライバシーポリシーへのアクセス率、閲覧時間、利用者が閲覧したセクションなど、利用者の行動を追跡しています。これらの指標は、ポリシーの内容に対する利用者の関与や関心の程度を測定するのに役立ちます。
- アンケート調査：Meta は、ポリシーの好感度および明確性に関する利用者のフィードバックを収集するためのアンケート調査を実施しています。この定性データは、行動指標を補完し、利用者の理解に関する洞察を提供します。
- テキスト分析およびヒューリスティック評価：ポリシーの更新がリリースされる前に、Meta は、テキスト分析ツールおよびヒューリスティック評価を用いて、

ポリシーのテキストの明確性および読みやすさを評価し、その内容が理解しやすさに関する高い基準を満たしていることを確認しています。

Meta は、利用者の理解に関する洞察に基づいて、積極的な措置を講じています。

- 簡素化と明確さ：ポリシーは、平易な言葉と明確な説明で構成されており、専門用語を文脈に沿って説明し、重要な情報を強調して、利用者の理解に対する自信を高めています。ポリシーは、世界中の利用者が読みやすく理解しやすいよう、約 13 歳の読解力レベルに合わせて作成されています。
- 階層化された対話型のコンテンツ：Meta のデータ取り扱い方針および利用者の選択肢について明確に伝えるため、Meta は各セクションを箇条書きで拡張可能な要約で階層化した形式を採用し、プライバシーポリシー全体に追加の詳細や例を記載し、コントロールに簡単にアクセスできるようにしています。
- 利用者のコントロールと透明性：透明性には、利用者が自分のデータについて情報に基づいた決定を行えるよう、意味のあるコントロールが組み合わされています。
- ターゲットを絞ったコミュニケーション：ポリシーの更新時には、Meta は、重要なポイントの強調と利用者の懸念への対応を目的としたターゲットを絞ったメッセージキャンペーンを実施し、世論や誤情報の管理を支援しています。
- 継続的な調査とテスト：Meta は、説明のわかりやすさとエンゲージメントの向上を目的として、非テキスト形式の検討を含む利用者調査とデザインコンセプトのテストを実施しています。

例えば、2022 年に、Meta は、複数の市場において利用者との一対一のインタビューを通じて実施した定性的な利用者調査に基づき、プライバシーポリシーの包括的な書き直しとデザインの刷新を行いました。この調査では、参加者がポリシーをどのようにナビゲートしたか、どのセクションが混乱を招いたか、どのデザイン要素（例：拡張可能な

		要約、文脈に応じた例示、設定へのインラインリンク）が理解を最もよく支えたかを評価しました。この調査に基づいて実施された主な変更には、約 13 歳の読解力レベルへの言語の簡素化、階層的な拡張可能形式の採用、文脈に応じた動画や例の組み込み、および関連する設定へのコンテキスト内での直接アクセスの提供が含まれます。 Meta は、Meta のプライバシーポリシーのすべてのバージョンが利用者にとって明確で理解しやすいものとなるよう、継続的に取り組んでいます。
透明性確保のための工夫		
2-4. [2-4] ※下線部追加	利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処（利用者への働きかけや情報提供、ユーザテストの実施）	① ② ③ ※②、③については非ログイン時、非アカウント保有時であっても、サービス利用に伴って利用者情報を取得・利用することについて、利用者が認識・理解できるよう、どのように説明を行っているかについてご記載ください。 ※ソーシャルプラグインや JavaScript タグ、情報収集モジュールを設置したウェブサイト・アプリからの利用者情報の取得や、カスタムオーディエンス・データクリーンルームのような形での利用者情報の活用等、通常の利用者にとってなじみがなく、理解することが難しいと考えられる仕組みでの利用者情報の取得・利用について、プライバシーポリシー等で説明を行っているか、行っていればその内容が分かるように具体的にご記載ください。また、当該説明について利用者の理解度等の効果測定を実施している場合には、その方法および結果についても併せてご記載ください。

この質問は、情報の取り扱い方法に関する情報を簡素化するために Meta がどのようなステップを踏んでいるか、また Meta がそのような説明に対する利用者の理解度について有効性の測定を行っているかを尋ねていると理解しました。

①、③ 2025 年モニタリング資料設問 2-4 に対する回答（これは 2024 年モニタリング資料設問 2-6-1 に対する回答および 2023 年モニタリング資料設問 2-5 に対する回答を参照しています。）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。

自分の個人情報を理解し、管理できるようにするためには、関連するデータ取り扱い方法について人々に通知することが不可欠です。効果的であるためには、その通知は意味のあるものでなければなりません。日本人が日々接する組織やサービスの数が多いことを考えると、「通知疲れ」を起こさずに十分な情報を提供するにはどうすればよいか、という点が課題となります。人々は情報を得る必要がありますが、単に伝える情報の量を増やすだけでは十分ではありません。Meta としては、事業者に対して長くて複雑な、あるいは法律用語を多用した事前通知を求める事細かなルールを適用することは、消費者の利益にならないと考えています。むしろ事業者は、人々に情報を提供すると同時に、人々が自分にとって意味のあるプライバシーの選択ができるようにする新しい方法を見つける必要があります。

その出発点として、人に焦点を当て、プライバシー情報をどのように理解し、異なるタイプのプライバシー通知とどのように関わり合うのかを考えることが重要です。プライバシーに関する効果的なコミュニケーションとは、デジタルサービスを利用する人々の多様性や、コネクテッドデバイスや人工知能などの進化するテクノロジーを人々がどのように理解し、どのように関わるかを認識し、それに合わせて設計することでもあります。人を中心に据えることによってのみ、人々とのコミュニケーションのためのより良いアプローチを開発することができます。すなわち、プライバシー通知の設計やプライバシーに関するコミュニケーションにおいて「万能の解決策」は存在しません。むしろ、最適なソリューションとは、様々なコンテキスト、利用者、サービスを考慮したものでなければなりません。

この哲学に基づき、2022 年、Meta はプライバシーポリシーを更新し、複数の市場における利用者との 1 対 1 のインタビューを通じて実施した定性的ユーザーリサーチに基づいた、読みやすいレベルで Meta のデータに関する慣行をより明確に記載しました。この方針には、Meta が第三者とどのように協力し、社内全体でデータをどのように共有し、データをどのように広告に使用し、セキュリティおよびインテグリティシステムがどのように機能しているかを示す、より詳細な情報が含まれています。この更新は、一般的に利用者により高い透明性を提供し、基本となる基礎的なテキストで、より具体的に Meta の現在のプラクティスを説明しています。デザインは、利用者のエンゲージメ

ントを最も促進し、関連する設定やより詳細な情報への直接的でコンテキストに応じたアクセスを組み込むために刷新されました。Meta は社内調査を行い、これによりプライバシーについて利用者と効果的にコミュニケーションをとるための重要な要素があることが明らかになりました。この度の改訂・再設計では、これらの要素を実装するよう努めました：(1) 明確で、シンプルで、利用者中心であること、(2) 利用者の懸念を予測し、それを阻止すること、(3) Meta が言った通りのことを行っていると確信してもらうこと、(4) 可能な限り、透明性とコントロールの感覚を組み合わせること。

Meta においては、プライバシーポリシー（Meta のプライバシーに関する実践内容を詳細に説明する文書）に加え、データプライバシーに関する実践内容を人々に伝えるためのさまざまな方法があります。

場合によっては、ニュースルーム内の専用の「プライバシー」セクションを通じて、特定の機能や問題の文脈におけるプライバシーへのアプローチについてより詳細な情報を提供することがあります。

また、Meta のデータ処理活動や、利用者のデータを利用者の体験に反映するためにどのように利用しているかを理解できるよう、プライバシー管理に関する製品内通知やコンテキストに応じた教育情報を提供することがあります。

さらに、利用者が Meta のプライバシーに関する実践について質問がある場合に回答を提供するため、ヘルプセンターとプライバシーセンターを活用しています。

プライバシーや個人情報の取り扱いに関する利用者からの質問に対応するための専門チームを配置しています。

② ログアウトしている利用者についても、アカウント登録がなされていることを前提に、①と同様に、収集する情報および利用目的を通知します。また、パートナーから提供される情報に関して、利用者がログインしているかどうかに関わらず一部の情報が収集される可能性がある旨を、Meta のプライバシーポリシーにおいて説明しています。

「[パートナー](#)は、利用者のメールアドレス、[Cookie](#)、広告デバイス ID などの情報も Meta と共有します。これらの情報は、利用者のアクティビティとアカウントをマッチさせるのに役立ちます（アカウントを持っている場合）。

利用者が Meta 製品にログインしているかどうか、または Meta 製品のアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta はこうした情報を受け取ります。

Meta がパートナーからの情報を利用者のアカウントに紐づける方法について、[詳しくはこちらをご覧ください。](#)」

さらに、Meta のプライバシーポリシーの「Meta が利用者の情報を処理する理由とその処理方法」と題された表では、広告をパーソナライズするために、Meta が利用者に関連付けたパートナーからの情報を使用すること、およびそのような情報は、利用者がログインしているかどうかにかかわらず受信されることを、再度明記しています。

「利用者に合った広告の表示を目的としたサードパーティからの情報の入手と使用：Meta は、Meta カンパニー製品の外部で行ったアクティビティについて広告主や事業者などのパートナーから提供された情報であって、Meta 製品や、Meta の広告サービスを利用するウェブサイト、アプリおよびデバイス上で表示される広告をパーソナライズするために Meta が利用者に関連付けた情報を使用します。利用者が Meta 製品にログインしているかどうか、または Meta 製品のアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta はこうした情報を受け取ります。詳しくは、[Cookie ポリシー](#)をご覧ください。」

Meta の [Cookie ポリシー](#)も公開されており、次のように記載されています。

「Cookie の利用場面

Meta は、利用者が次のサービスの利用やアクセスを行ったときに、利用者のコンピューターやデバイスに Cookie を配置し、Cookie に保存された情報を取得することがあります。

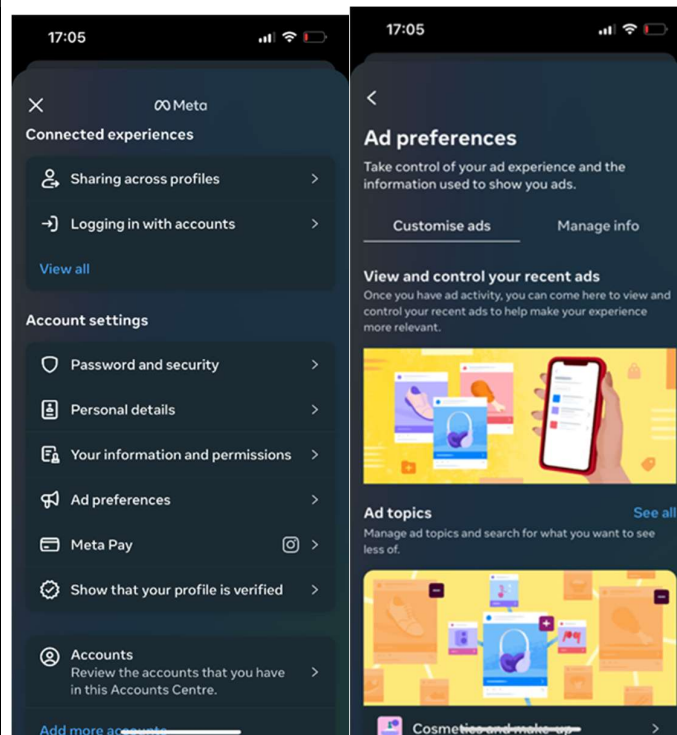
[Meta 製品](#)

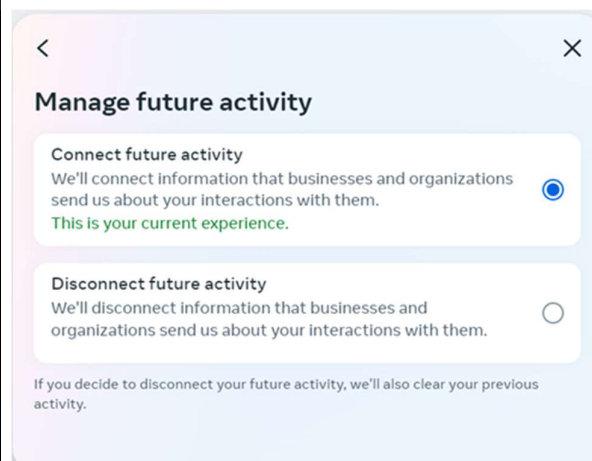
[Meta グループ企業](#)に属する他の企業が提供する製品

自社のウェブサイトやアプリに Meta テクノロジーを統合している企業など、Meta 製品が利用されている他の企業が提供するウェブサイトやアプリ。Meta は Cookie を使用して、利用者がこれらのサイトやアプリにアクセスしたときに、

		利用者によるアクションがなくても、デバイス情報や利用者のアクティビティに関する情報などを受け取ります。利用者に Facebook アカウントまたは Instagram アカウントがあるかどうか、または利用者のログイン状態にかかわらず、情報を受け取ることができます。〔強調追加〕」 最後に、利用者はそのような情報が自分のアカウントに関連付けられるかどうかをコントロールできることに留意してください。Facebook の利用者は、自分のアカウントに関連付けられた Meta テクノロジー以外のアクティビティの要約を見ることができ、また、Meta テクノロジー以外のアクティビティ機能を使用してその関連付けを切断することができます。 上記の設問 2-3 に対する回答で述べたとおり、Meta は利用者がプライバシーに関する開示情報にどのように関わり、どのように理解しているかを把握するために、多面的な測定アプローチを採用しています。これらの測定アプローチは、サードパーティのデータ収集メカニズムに関する部分を含め、Meta のプライバシーコミュニケーション全体に適用されます。
オプトアウト		
2-5-1. [2-5-1]	利用者情報の提供・利用を希望しない意思を示すオプトア	① ② ③

※下線部追加	ウト手段の設置状況（方法、対象範囲等含む）	※①については、どのような情報の取得・利用についてオプトアウトすることができるか、どのような手段でオプトアウトをすることができるようになって いるか、ご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 <u>※特に③について、オプトアウト手段を設置していない場合、その理由をご記載 ください。</u> この質問は、自身の情報を提供すること、または自身の情報が広告に使用されることを 許可することを望まないユーザーが利用できるオプトアウトについて質問しているもの と理解しました。 ①②③ 2025 年モニタリング資料設問 2-5-1 に対する回答（2024 年モニタリング資料設 問 2-8-1 に対する回答を参照）をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じ て更新しております。 ① Facebook のサービスに登録するには、ユーザーは名前、メールアドレスまたは電話番 号、性別、および生年月日を提供する必要があります。Instagram に参加したいユーザ ーは、名前、メールアドレスまたは電話番号、および生年月日を提供する必要がありま す。ユーザーは、居住地、言語、学歴、雇用、趣味、好きな映画、本、音楽などの追加 情報を Facebook または Instagram のプロフィールに提供することもできます。この追加 情報の提供は、ユーザーの完全な任意です。ユーザーは、追加情報を提供しなくても、 引き続き Meta のサービスを利用することができます。
---------------	------------------------------	--

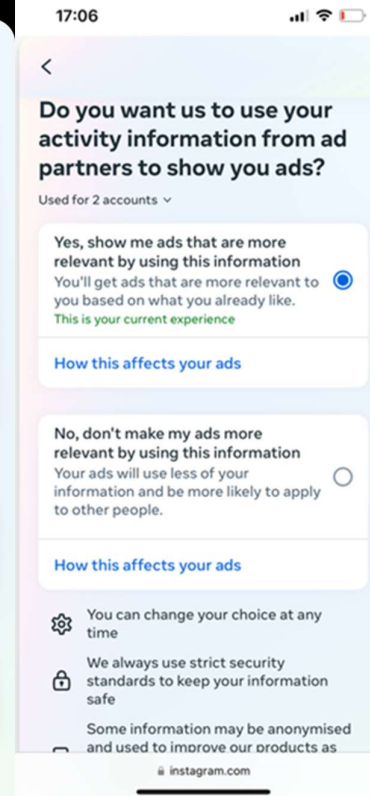
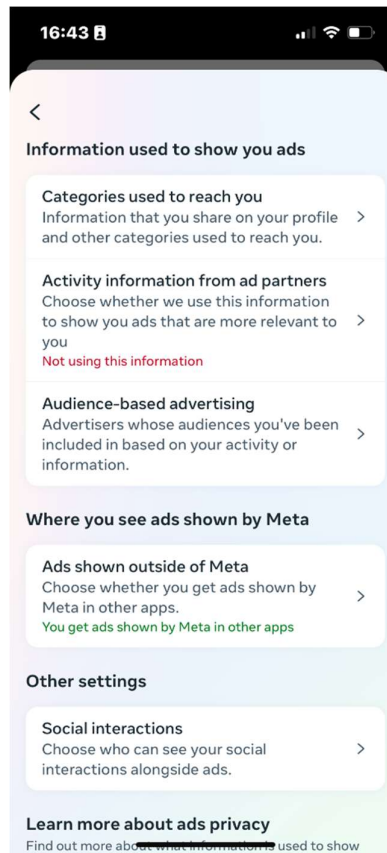


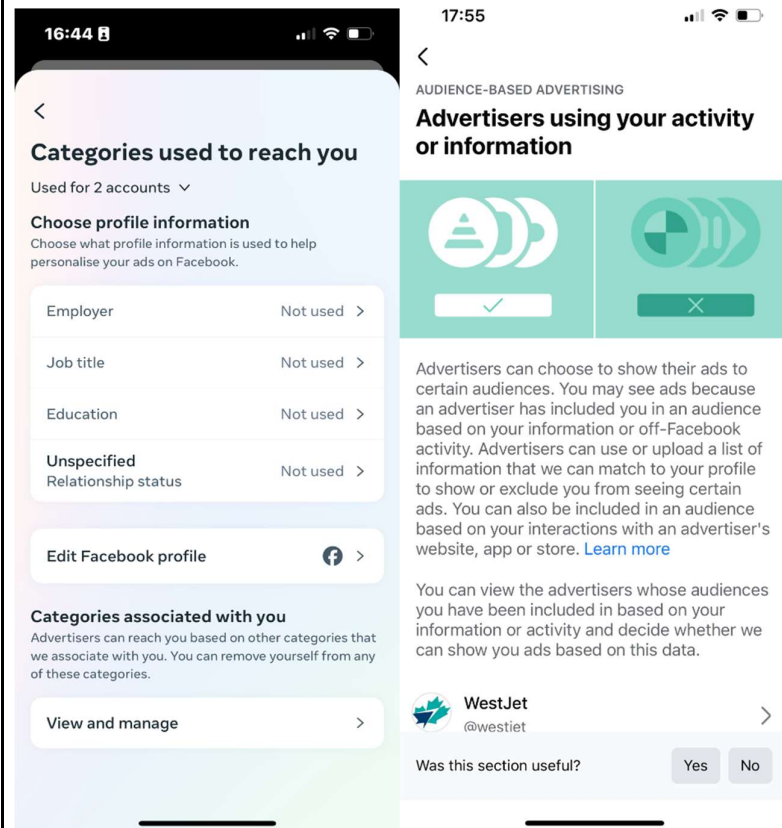


ユーザーにプライバシーをコントロールする力を与えるため、Meta はユーザーにコントロールを提供しています。ユーザーがオプトアウトし、データの処理をよりコントロールできるようにするためのコントロールの例とその場所は以下のとおりです。

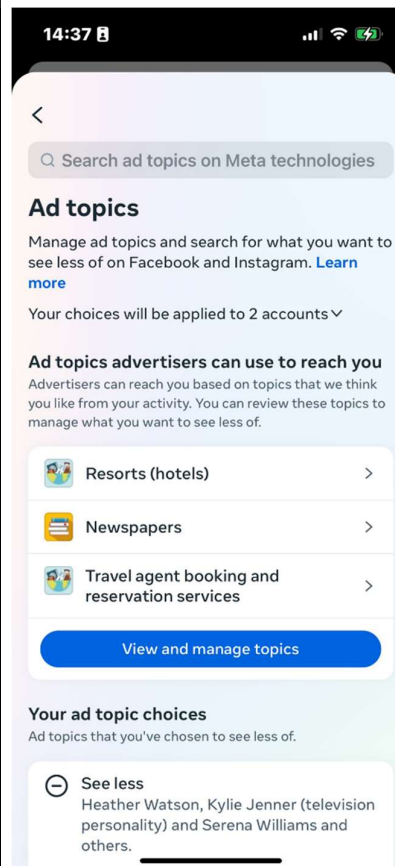
1. 設定とコントロールを見つけやすくするように**設定**メニューをデザインしました。ユーザーは、プライバシー設定、セキュリティおよびログイン情報、広告設定、その他の設定に一箇所でアクセスし、変更することができます。
2. **広告設定コントロール**では、広告の仕組みやすべての広告設定に関する情報をまとめて確認することができます。広告設定ページでは、次のこともできます。
 - Facebook で広告を表示するために情報がどのように使用されるかについての一般的な質問を見ることができます。
 - 他のウェブサイト、アプリ、またはオフラインでの活動に基づいてパーソナライズされた広告を表示するかどうかを選択できます。

		○ 特定の Facebook プロフィール情報やその他のカテゴリなど、広告主がユーザーにリーチするために使用できる情報を確認し、この情報を使用して広告を表示できるかどうかを選択できます。 ○ ユーザーの活動や情報に基づいて、ユーザーがそのオーディエンスに含まれる広告主を表示し、これらのオーディエンスを使用して広告を表示できるかどうかを決定できます。 ○ 広告主が Meta Company Products 外でユーザーにリーチする方法を選択できます。 ○ Facebook 上の広告と並行して、ユーザーのソーシャルインタラクションを誰が見ることができるかを調整できます。
--	--	---





3. 広告トピックページコントロールは、ユーザーにトピックを「表示を減らす」機能を提供し、ユーザーがそのトピックに関連付けられている場合、対応するターゲティングセグメントからユーザーを削除し、広告配信において選択したトピックに関連する広告コンテンツをフィルタリングすることを目的としています。これらの機能により、ユーザーは自身の広告体験を管理することができます。



4. また、Meta は定期的にユーザーにプライバシー設定の見直しを促しています（プライバシー設定の確認）。

プライバシー設定の確認

あなたのアカウントに最適な設定を選ぶように、いくつかの設定をご案内します。
どのトピックからスタートしますか？



Facebookのその他のプライバシー設定は次で確認できます: [設定](#)

②

ログアウトしているユーザーは、アカウントにログインする際に①に記載のコントロールを利用できます。

③

Meta は、プライバシーポリシーにおいて、収集および利用する情報について、利用者および非利用者に対して情報を提供しています。非利用者は、デバイスレベルのコントロール（iOS - 設定 > Safari/Chrome > クロスサイトトラッキングを防止）を使用して、

		インターネット閲覧に関連するクッキーおよび類似技術を一般的に管理することができます。 Meta は、アカウントを持たずに Facebook または Instagram にアクセスするユーザー、またはアカウントからログアウトしているユーザーに対して、Meta のプラットフォーム上でターゲティング広告を配信していません。そのため、ターゲティング広告のオプトアウト設定はその文脈では適用されません。
2-5-2. [2-5-2]	オプトアウト設定に関する利用者に対する支援（プライバシーに配慮された設定を簡便に行う手段、わかりやすい説明等）	① ② ③ ※オプトアウト設定について、項目ごとに個別に設定ができることに加え、利用者のプライバシーへの関心の程度に応じて、ある程度一括で設定を行えるようにするなどの簡便な設定の方法を設けたり、設定内容についてわかりやすく説明したりするなど、利用者の設定を支援するような工夫があれば、ご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 Meta は、本設問が、オプトアウト設定に関して利用者がどのようなサポートを利用できるかを尋ねているものと理解しました。 2024 年モニタリング資料設問 2-8-2 に対する回答をご覧ください。以下にその内容を転記し、必要に応じて更新しております。 ① 上記設問 2-5-1 への回答をご覧ください。さらに、Meta は、オプトアウトを含む利用者のツールに関する情報をプライバシーポリシーに記載しています。

How can you manage or delete your information and exercise your rights?



Highlights



We offer you a variety of tools to view, manage, download and delete your information below. You can also manage your information by visiting the settings of the Products you use. You may also have other privacy rights under applicable laws.

To exercise your rights, visit our Help Centres, your settings for Facebook and Instagram and your device-based settings.

Take a Privacy Checkup



Take a Privacy Checkup

Be guided through Facebook privacy settings



View and manage your information



Access your information



Off-Meta activity



Ad preferences



Manage your data



Port, download or delete your information



Port your information



Download your information

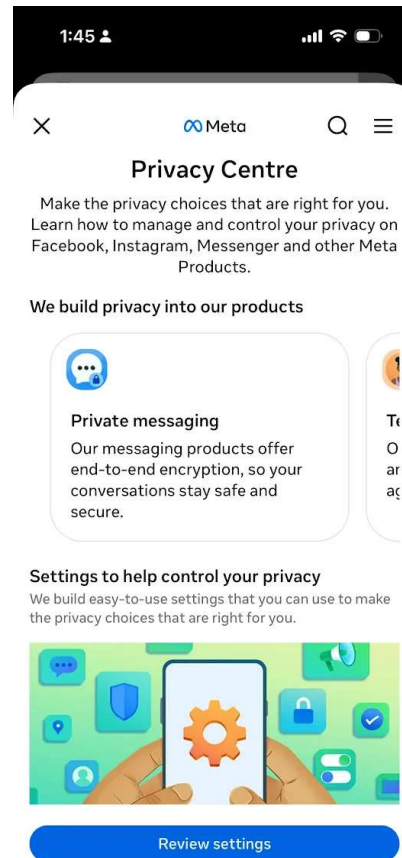


Delete your information or account



You can learn more about how privacy works on [Facebook](#) and on [Instagram](#), and in the [Facebook Help Centre](#). If you have any questions about this policy, you can [contact us](#) as described below. In some countries, you may also be able to contact the Data Protection Officer for Meta Platforms, Inc., and depending on your jurisdiction, you may also contact your local Data Protection Authority ("DPA") directly.

利用者が利用可能なすべてのオプトアウトツールをまとめたワンストップの「プライバシーセンター」は利用者のアカウント設定ページから簡単にアクセスできます。



また、一般公開されているヘルプセンターは、多岐にわたる情報を記載しており、サイト内で検索が可能です。このヘルプセンターでは、サービスのしくみと利用者が使用できるコントロール（オプトアウトオプションを含む）に関する詳細情報を提供しています。関連するヘルプ記事の例を次に示します。

- 「Facebook 広告の仕組み」では、広告が利用者にどのように表示されるか、利用者が表示する広告をどのように管理できるか、広告体験をどのように管理できるかについて説明しています。
- 「表示される広告の管理」では、アカウント設定による広告設定の調整、広告主からの広告の非表示、特定の広告トピックの非表示の選択、および広告設定ページで利用可能なその他の機能について、段階ごとに説明しています。

利用者において、オプトアウトまたはその他のプライバシー関連の問い合わせに関してさらにサポートが必要な場合は、[プライバシー権リクエストポータル](#)から Meta に連絡することもできます。

 Meta

Privacy rights requests

 Privacy rights requests

Resources

Privacy Centre

Meta Privacy Policy

Supplemental Meta Platforms Technologies Privacy Policy

Meta Help Centre

Language

English (UK). [Change?](#)

Privacy · Terms · Ad choices · Cookies · About · Meta © 2026

Privacy rights requests

You can request information about your privacy rights across Meta technologies.

Location

Singapore. [Change location](#)

What do you need support with?

 Facebook

 Instagram

 Threads

 Messenger Kids

 Meta Quest

 AI Glasses

 Meta AI app and vibes

Other

		2025 年モニタリング資料設問 2-5-3 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 2-8-3 を参照）を下記に再掲しております。 Meta の理念は、利用者に意味のあるプライバシーの選択肢を提供することです。登録時に単一のオプトアウトを設けるのではなく、Meta はいつでもアクセス可能な包括的なコントロールを提供しています（設問 2-5-1 をご参照ください）。
2-6-1. [2-6-1]	オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否	※オプトアウトをした場合であってもサービスを継続利用できるか否か（オプトアウトの手段がない場合には、サービスを継続利用できない場合に該当します。）についてご記載ください。また、サービス自体は継続利用できる場合であっても、利用できる機能に制限がかかる等、ユーザ体験が変わる点があれば、その点をご記載ください。 Meta は、本設問が、ユーザーがオプトアウトした後もサービスを利用し続けることができるかどうかを問うものと理解しました。 2025 年モニタリング資料設問 2-6-1 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 2-9-1 を参照）を下記に再掲しております。 Facebook のサービスに参加するには、ユーザーは、名前、メールアドレスまたは電話番号、性別、生年月日を提供する必要があります。Instagram に参加するには、ユーザーは、メールアドレスまたは電話番号と生年月日を提供する必要があります。追加情報は、ユーザーが提供するかどうかは完全に任意です。ユーザーは、追加情報を提供しなくても、引き続き Meta のサービスを利用することができます。 上記の回答 2-5-1 および 2-5-2 に記載されているすべてのオプトアウト管理ツールについて、オプトアウトしても、サービスの利用に影響はなく、引き続き利用することができます。ただし、例えば広告の設定を変更すると、ユーザーのカスタマイズに応じて、広告に関するユーザーの体験が変わる可能性があります。
2-6-2. [2-6-2]	広告への利用をオプトアウトした場合の利用者情報の取扱	※例えば、ターゲティング広告での利用者情報の利用についてオプトアウトをした場合に、ターゲティング広告以外の目的で当該利用者情報が使われるな

※下線部追加	い（広告以外の目的での利用の状況、オプトアウトされた利用者情報の削除の実施有無等）	ど、他の目的で利用者情報が利用されることがある場合、その具体的な内容についてご記載ください。また、オプトアウトされた利用者情報については削除されるのか等、オプトアウト後の利用者情報の取扱いについてご記載ください。 Meta は、本設問が、ユーザーが広告をオプトアウトした場合に Meta がユーザー情報をどのように扱うかを問うものであると理解しました。 2025 年モニタリング資料設問 2-6-2 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 2-9-2 を参照）を下記に再掲しております。 オプトアウトされた情報の取扱い：情報がどのように扱われるかは、オプトアウトの種類によって異なります。ユーザーは、特定の追加情報を提供しないことを選択できます。ユーザーが Meta が提供するコントロールのオプションを利用することを選択した場合、その選択を有効にします。例えば： ● ユーザーが広告環境設定の広告パートナーからのアクティビティ情報設定を通じて、広告主やその他のパートナーが Meta に提供するアクティビティ情報を使用させないことを選択した場合、Meta はそのようなアクティビティを使用してユーザーに広告を表示しません。 ● ユーザーが広告トピックのコントロールでトピックの「表示を減らす」ことを選択した場合、ユーザーが関連付けられているターゲティングセグメントからそのユーザーを削除し、選択されたトピックに関連する広告コンテンツを広告配信から除外することを目指します。 さらに、Meta の第三者との契約条件では、第三者がオプトアウトを尊重することが求められています。例えば、Meta の顧客リストのカスタムオーディエンス利用規約では、広告主はオプトアウトを尊重することを表明し、保証することが求められています。引き続きプライバシーポリシーが完全に適用されます。
---------------	--	---

		「お客様は、ハッシュ化データが、Meta のプラットフォーム上でターゲティングオーディエンスの作成に当該データが使用されることをオプトアウトするために、お客様が直接的または間接的に尊重することを約束した、もしくは提供したオプションを行使した個人に関するデータを含まないことを表明し、保証するものとします。お客様が当該個人に関するデータを使用してオーディエンスを作成した後に、当該個人が当該オプトアウトを行使した場合、お客様は当該個人をオーディエンスから削除するものとします。」 オプトアウトされた情報の削除について：オプトアウトにより自動的に情報が削除されるわけではありません。Meta は、利用者が情報を閲覧、管理、ダウンロード、および削除するためのツール（プライバシーセンター）を提供しています。削除には最大 90 日間、バックアップからの削除にはさらに 90 日間を要します。
2-7. [2-7]	オプトアウトに関する通知事項、導線、ステップ数。特に、利用者が認知しやすくするための工夫	① ② ③ ※オプトアウトの手段を設けている場合に、オプトアウト可能であることを利用者が容易に認知することができるよう、どのような工夫を行っているかについてご記載ください（登録時や利用開始時に明示的に提示される、サービス利用時にポップアップで表示される等）。また、オプトアウト設定画面にたどり着くまでに、どの程度のステップ数の遷移が必要となるかご記載ください。ステップについては、対象サービスのトップページからのクリック数をご記載いただき、そのクリックごと（画面遷移を伴わず、メニュー開閉のみの場合を含む。）の画面表示のスクリーンショットを添付ください。 ※②、③については非ログイン時、非アカウント保有時の利用であっても、オプトアウトの手段があることについて、利用者が理解できるよう、どのように説明を行っているかについてご記載ください。

Meta は、本設問が、オプトアウトに関連して Meta がどのような通知、ガイダンス、手順を提供し、ユーザーがオプトアウトを認識できるようにしているかを尋ねているものと理解しました。

2025 年モニタリング資料設問 2-7 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 2-11 を参照）を下記に再掲しております。

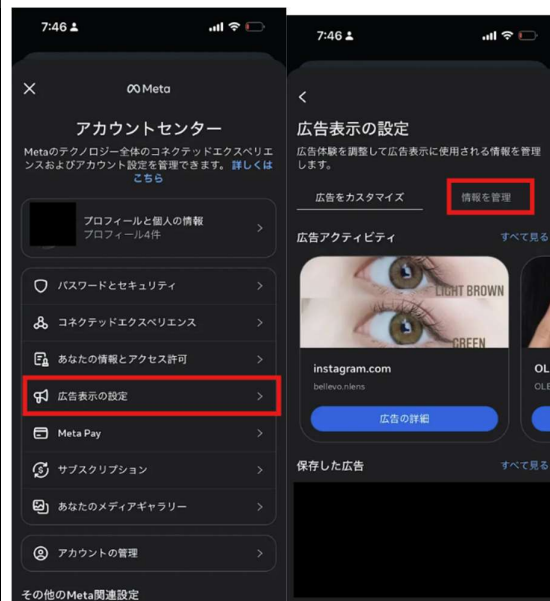
① 上記の回答 2-5-1、2-5-2、2-6 をご覧ください。ユーザーは、「自分の情報を管理または削除し、権利を行使するにはどうすればよいですか。」というタイトルのプライバシーポリシーのセクションで、自分の権利にアクセスする方法に関する情報にアクセスできます。

Meta AI support assistant (MAISA) によりますと：**Facebook** または **Instagram**（モバイル）のデータ管理設定に到達するには、**5 回のタップ**が必要です。

- 設定とプライバシー（またはプロフィール写真 > メニュー）
- 設定
- アカウントセンター
- 広告設定
- 情報の管理

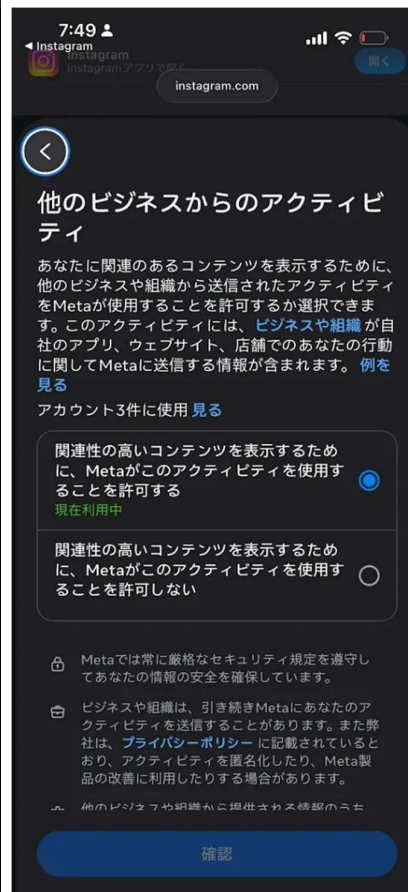
上記の画面に到達した後、ユーザーはオプトアウトを希望する各データカテゴリー（広告パートナーからのアクティビティなど）を個別に選択し、設定をオフに切り替える必要があります。



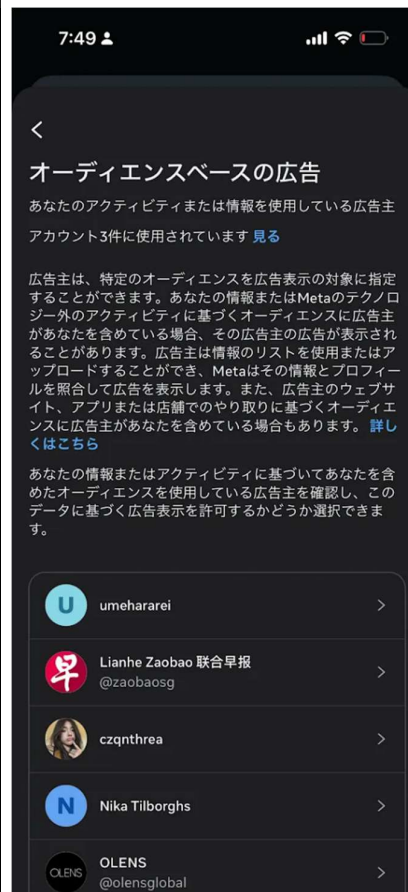




「他のビジネスからのアクティビティ」をタップすると、



「オーディエンススペースの広告」をタップすると、



②および③：ログアウトしているユーザーまたはアカウントを持っていないユーザーは、ログインするかアカウントを作成するまで、アカウントセンターにアクセスできません。ただし、Meta のプライバシーポリシーは公開されています。

データポータビリティ		
2-8-1. [2-9-1] ※下線部追加	データポータビリティに関する取組（データポータビリティを求める方法、対象範囲）	① ② ③ ※利用者自身によるデータポータビリティはどのように可能にしているか（方法）、また、どのような情報を持ち運び可能とし、どのように活用可能としているか（対象範囲）についてご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 この質問は、データポータビリティに利用できる手段（データ移行のリクエスト方法、移行されるデータの範囲）を問うものと理解しました。 ①②③につきましては、2025 年モニタリング質問に対する回答 2-9-1（同回答は、2024 年モニタリング要請に対する回答 2-12-1 および 2023 年モニタリング要請に対する回答 2-11 を参照しています）をご参照ください。関連する部分について更新の上、以下に再掲いたします。 ① Meta は、あるサービスでデータを共有した場合、そのデータを別のサービスに移行できるべきだと考えています。データポータビリティは、人々にコントロールと選択肢を提供するとともに、競争とイノベーションを促進します。Meta はデータポータビリティへのコミットメントを長年続けており、2010 年に Facebook の「Download Your Information」ツールをリリースしました。2010 年以降、Meta は新たなデータポータビリティツールへの投資を継続し、ユーザーがサービス間を容易に移動できるようにし、選択肢を提供し、開発者がイノベーションと競争を推進できるよう努めてきました。

2019 年以降、Meta の創業者兼 CEO であるマーク・ザッカーバーグは、データポータビリティに関する規制を繰り返し求めており、「規制はデータポータビリティの原則を保証すべきだ」と述べています。

データポータビリティへの Meta のコミットメントは、GDPR やその他のデータ保護法においてデータポータビリティが法的要件となるはるか以前から、Meta が開発したさまざまなツールを通じて、ユーザーがプラットフォーム上で共有したデータを容易に閲覧・ダウンロードできるようにしてきた事実によって示されています。

Meta が提供する主なポータビリティツールは「Export Your Information」ツールです（これは以前の「Download Your Information (DYI)」と「Transfer Your Information (TYI)」ツールを、単一の統一されたアクセス・ポータビリティツールに統合したものです）。「Export Your Information」ツールにより、ユーザーは自身の情報のコピーを外部サービスにエクスポートするか、デバイスにエクスポートすることができます。エクスポート可能な情報の種類には以下が含まれます。

- Facebook での活動：Facebook のさまざまな領域における情報と活動（作成した投稿、タグ付けされた写真、所属するグループなど）
- 個人情報：Facebook アカウントおよびプロフィールを設定する際に提供した情報
- つながり：Facebook 上で誰と、どのようにつながっているかに関する情報（友達やフォロワーなど）
- ログ情報：Facebook がアクティビティについて記録する情報（検索履歴など）
- セキュリティとログイン情報：アカウントに関連する技術情報およびログに記録されたアクティビティ
- Facebook 外のアプリとウェブサイト：所有するアプリおよび Facebook 外のアプリやウェブサイトから受信したアクティビティ
- 設定：Facebook での体験をカスタマイズするために行った操作

- 広告情報：Facebook 上の広告および広告主とのインタラクション
- データログ：データログは、あなたに関連付けることができる追加の詳細情報であり、Meta が収集・保存するものです。データログのエクスポートについて[詳しくはこちら](#)をご参照ください。

エクスポートには、他者が共有した情報（例：ユーザーがタグ付けされた他者の写真）は含まれません。

ユーザーは、「設定とプライバシー」→「設定」→「アカウントセンター」→「あなたの情報と権限」→「情報をエクスポート」を選択することで、リクエストを開始できます。その後、エクスポートするプロフィール、エクスポートする具体的な情報、日付範囲、形式、通知メール、メディアの品質を選択するよう案内されます。

②

セキュリティとプライバシーの観点から、ユーザー情報のエクスポートは本人確認ができたユーザーのみが行うべきものであるため、ログアウト状態のユーザーには「Export Your Information」ツールにアクセスする前にログイン（本人確認）を求めています。

③

アカウントを保有していないユーザーは、「Export Your Information」ツールを通じて個人情報のリクエストすることはできません。ただし、Meta が自身に関する情報を保有していると考えer場合は、[Privacy Rights requests portal](#)を通じてご連絡いただき、情報のコピーをリクエストすることができます。

2-8-2. [2-9-2]	利用者から取得した情報をもとに行うプロファイリング等により生成したデータのポータビリティに関する取組	※利用者から直接取得した利用者情報だけでなく、直接取得した情報をもとに生成した情報（興味・関心の情報等）についてもデータポータビリティが確保されていれば、その取組についてご記載ください。 Meta は、本設問が、ユーザーから取得したデータを用いてプロファイリングによって生成されたデータについて、どのようなデータポータビリティが可能かという質問であると理解しました。 上記の設問 2-8-1 への回答をご覧ください。Export Your Information を通じてエクスポートできる情報については、ヘルプセンターの記事を通じてユーザーに提供されています。
3. 第三者や第三者の運営するウェブサイト・アプリ（以下「第三者のウェブサイト等」という。）を経由した情報収集の状況		
3-1. 【新規問】	第三者や第三者のウェブサイト等による利用者に対する同意取得や通知、説明等について、第三者等に対する具体的な実施状況の確認や改善指導、確認結果を踏まえた対応を行っているか（ダークパターン回避の取組を含む）。	※第三者や第三者のウェブサイト等から利用者情報を取得する場合において、当該第三者や第三者のウェブサイト等が利用者に対して行う同意取得、通知、説明等の実施状況について、どのように確認しているかご記載ください。 ※当該第三者に対し、同意取得、通知、説明等の方法について、平時からの改善を促す取組（当該方法の通知・公表等）を行っている場合には、その内容をご記載ください。 ※確認の結果、不適切な対応が認められた場合に講じている措置（例：改善要請、取引の見直し等）についてもご記載ください。 ※当該第三者がターゲティング広告に係る事前の設定やオプトアウト機会の利用者への提供について、いわゆるダークパターンに該当するような表示・導線が用いられていないかについて、確認・対応している場合、その内容についてもご記載ください。 （ダークパターンとは、例えば「スマートフォン プライバシー セキュリティ イニシアティブ」（総務省 利用者情報に関するワーキンググループ（令和7年9月10日））では「サービスの利用者を欺いたり操作したりするような方

法又は利用者が情報を得た上で自由に決定を行う能力を実質的に歪めたり損なったりする方法で、ユーザインターフェースを設計・構成・運営すること。」とされています。)

Meta は、本設問が以下について尋ねているものと理解しています：(1) 第三者（広告主等）が Meta にユーザー情報を提供する際に、適切に同意を取得し、通知を行い、ユーザーに対して説明を行っていることを Meta がどのように確認しているか、(2) 第三者の同意取得・通知の実務改善を促すために Meta が行っている取り組み、(3) 不遵守が確認された場合に Meta が講じる措置、(4) ターゲティング広告の設定やオプトアウトに関する第三者のユーザインターフェースが「ダークパターン」に該当しないことを Meta が確認しているか。

2025 年度モニタリング要請に対する質問 5-1 への回答をご参照ください。以下に再掲し、関連箇所について修正を加えています。

1. 第三者による同意取得、通知および説明の確認

Meta は、主に Meta ビジネスツール（Meta Pixel、コンバージョン API、SDK を含む）およびカスタマーリストカスタムオーディエンス（CLCA）製品を通じて、第三者（広告主およびその他のパートナー等）から情報を受け取っています。

Meta は、当該第三者による同意取得、通知および説明の実施状況を評価するために、以下の措置を講じています：

(a) 契約上の要件： Meta の [ビジネスツール規約](#) は、契約パートナーに対し、Meta と共有されるビジネスツールデータの収集、開示および使用に関して、必要なすべての権利および許諾を取得し、**適法な根拠**（すべての適用法令、規則および業界ガイドラインに

準拠したもの）を有することを明示的に求めています。パートナーは、Meta のツールの使用に先立ち、これらの規約に同意します。

(b) サードパーティアセスメント (TPA) プロセス： Meta が第三者から個人データを受け取る場合、Meta は TPA プロセスを通じて当該データの取得背景を評価します。このプロセスは、適切な法的根拠およびユーザーへの開示が行われているかを含め、データ取得の状況を対象としています。

2. 第三者に対し同意取得・通知方法の改善を促すための継続的な取り組み

Meta は、第三者がその実務を維持・改善することを支援・促進するため、以下の継続的な取り組みを行っています：

(a) 公開ドキュメントおよびガイダンス： Meta は、パートナー向けに包括的かつ公開されたリソースを公開・維持しています。これには以下が含まれます：

- Meta 開発者向けドキュメントに掲載されている [Cookie の同意に関するリソース](#)。適切な同意フローの実装に関するガイダンスを提供しています。
- [Meta ビジネスヘルプセンター](#)。Meta のツールを使用する際の適用法令の遵守に関する広告主向けガイダンスを含んでいます。

3. 不適切な対応が確認された場合に講じる措置

第三者がその義務を遵守していないことを Meta が確認した場合、Meta は以下のメカニズムを利用することができます：

(a) 監視および監査の権利： Meta は、第三者によるビジネスツール規約の遵守状況を監視または監査する権利を保持しています。この権利は契約上留保されています。

(b) **自動検知および通知**： Meta のシステムが禁止されている可能性のある情報の共有を検知した場合、Meta は広告主に対し当該問題を通知し、是正措置を求める権利を有します。

(c) **執行措置**： Meta は、不遵守のパートナーに対して執行措置を講じることができ、これには以下が含まれます：

- 改善および是正措置の要請
- パートナーの Meta ビジネスツールへのアクセスの停止または制限
- パートナーとの関係の終了
- 該当する場合、不適切に共有されたデータの削除または拒否

(d) **契約上の救済措置**： ビジネスツール規約は、不遵守に対処するための契約上のメカニズムを規定しており、パートナーによる表明、保証および補償義務を含みます。

4. 第三者のユーザーフローにおけるダークパターンに関する確認

Meta は、ユーザーインターフェースがユーザーに真の選択肢を提供し、欺瞞的なデザインに該当しないことを確保することの重要性を認識しています。

第三者のインターフェース： 第三者（広告主独自の同意フローやオプトアウトの仕組み等）が使用するインターフェースに関して、Meta は第三者のユーザーインターフェースのデザインを直接管理するものではありませんが、それにもかかわらず以下の措置および管理体制を講じています：

- Meta のビジネスツール規約は、パートナーに対し**すべての適用法令、規則および業界ガイドライン**を遵守することを求めており、これには欺瞞的なデザイン慣行に関する適用要件が含まれます。

		● Meta が加重された義務を負う特定のパートナーシップ（パネルベースの調査を伴う測定パートナーシップ等）については、Meta は契約上、パートナーの同意フローを確認するアクセス権、同意フローの変更に関する通知、および特定のデザイン要件（同意フローのファーストビューかつ最初の実質的な画面において Meta の名称が目立つ形で表示されることを確保する等）を求める場合があります。 ● Meta はまた、適切かつ透明性のある同意メカニズムの実装に関するガイダンスを提供する Cookie の同意に関するリソースおよび開発者向けドキュメントを提供しています。
3-2. [3-5] ※TikTok 社のみ	第三者や第三者のウェブサイト等を経由した情報収集を行っている旨、自社のプライバシーポリシー等で利用者に対して説明しているか。	※特に、自社サービスのアカウントを保有していない人について情報を取得している旨を説明しているか、具体的にご記載ください。
4. サードパーティによる情報取得への対応方針		
4-1. [4-1] ※下線部追加	自社サービスにおける外部送信規律への対応状況	<u>※電気通信事業法第 27 条の 12 の外部送信規律の遵守に関して、自社サービス内で利用者情報を外部送信している場合のウェブサイトやアプリにおける通知、公表等の内容について、該当箇所を抜粋、スクリーンショット又はリンクと併せてご記載ください。</u>

Meta は、本設問が、電気通信事業法に基づく外部送信規律の遵守について Meta に説明を求めるとともに、利用者に提供されている関連通知の抜粋およびリンクの提供を求めているものと理解しております。

2025 年度モニタリング要請に対する回答 4-1（2024 年度モニタリング要請に対する回答 5-1 を参照）をご参照ください。当該回答を以下に再掲し、関連箇所について修正を加えています。

Meta は、日本の利用者に対し、利用者に関する情報の外部送信に関する詳細を、通知（すなわち日本向けプライバシー通知、[オンラインで閲覧可能](#)）において提供しています。

この通知では、電気通信事業法の外部送信規律の定めに従い、Meta が製品を提供するために Cookie および類似の技術を使用する際に、どのような情報が送信されるか、なぜ情報が送信されるか、および誰が情報を受け取るかについて説明しています。

[illegible]

※下線部追加	用の状況（収集する情報、利用目的、収集場面等）	※以下の①～④については、収集した情報の主体である利用者本人のアカウント保有の有無により対応が異なる場合には、その差異が分かるようにご記載ください（例：アカウント有の場合：～、アカウント無の場合：～）。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 ① 第三者から利用者情報の提供を受ける場合や、第三者のウェブサイト等にJavaScript タグ・情報収集モジュールを設置することによって利用者情報を取得する場合は、これらの方法により収集する情報（以下、本問において「第三者から収集した情報」という。）の内容、利用目的、収集する場面についてご記載ください。 ② 第三者から収集した情報について、どのように加工、分析、利用（広告ビジネスモデルへの活用等）しているかについてご記載ください【問 1-2-1、1-4 参照】。 ③ 第三者から収集した情報について、青少年・子どもや高齢者等の脆弱な個人に該当する場合において、通常の成人とは異なる配慮を行っている場合には、どのような取組を行っているかご記載ください。また、その際に、脆弱な個人であることをどのように判断しているかについてもご記載ください【問 1-2-2 参照】。 ④ 第三者から収集した情報について、第三者提供（再提供）している場合、誰に対して、何の目的で、どのような情報を提供しているのか。また、どのように同意を取得しているかについてご記載ください【問 1-3 参照】。 ⑤ 第三者から収集した情報について、当該情報の主体である利用者本人が保有するアカウントとの紐付けを行っているかご記載ください。紐付けを行っている場合には、プライバシーポリシー等においてその旨をどのように記載しているかについてご記載ください【問 1-5 参照】。
---------------	--------------------------------	--

① Meta は、本設問が以下について説明を求めるものと理解しています：(i) 第三者から、またはサードパーティのウェブサイトに関連する JavaScript タグ／情報収集モジュールを通じて収集される情報の詳細、(ii) 当該情報の利用目的、(iii) 収集の場面。

2025 年度モニタリング要請に対する質問 5-1 への回答（2024 年度モニタリング要請に対する質問 3-1 への回答を参照）を、以下に再掲し、関連する部分を更新しています。

収集メカニズムおよび場面

Meta は、パートナー（すなわち、自社の製品やサービスの広告、マーケティング、またはサポートのために Meta 製品を使用または統合する事業者および個人）が Meta とデータを共有することを可能にする [ビジネスツール](#) のスイートを提供しています。Meta がサードパーティのウェブサイトやアプリから情報を収集する主なビジネスツールは以下のとおりです。

1. Meta ピクセル

Meta のピクセルは、JavaScript を使用して、パートナーがそのウェブサイト訪問者およびウェブサイト上で行ったアクションに関するデータを共有できるようにするビジネスツールです。Meta は、パートナーに対し、ユーザーの情報を収集、使用、共有する権利を有していることを Meta に提供する前に確保するよう求めています。パートナーはこのツールを設定し、最終的に共有されるデータについて選択を行うことができます。このツールの仕組みに関する公開された説明は、ヘルプセンター (<https://www.facebook.com/help/331509497253087>) でご覧いただけます。

2. コンバージョン API

[コンバージョン API](#) は、パートナーが自社のサーバーから Meta にイベントデータを直接送信することを可能にします。これは、パートナーのサーバーと Meta の間に直接接続を作成し、広告ターゲティングの最適化、結果あたりのコストの削減、および成果の測定を支援するために設計されています。

3. Facebook SDK for App Events

Facebook SDK for App Events は、アプリ開発者がモバイルアプリケーションから Meta にイベントデータを送信することを可能にします。たとえば、アプリのインストール、アプリ内購入、およびアプリ内でのその他のユーザーアクションなどです。

4. カスタマーリストカスタムオーディエンス

自社ユーザーのハッシュ化されたデータを使用してカスタムオーディエンスを作成することを希望するパートナーは、[カスタマーリストカスタムオーディエンス規約](#)に同意する必要があります。これにより、パートナーはハッシュ化された顧客情報（メールアドレスや電話番号など）を Meta にアップロードし、Meta のユーザーベースと照合して広告用のオーディエンスを作成することができます。照合目的で共有された連絡先情報は、照合プロセス完了後速やかに削除されます。照合プロセスは通常 48 時間以内に完了します。

注：[ビジネスツール規約](#)は、これらの各ツールを通じて共有されるデータの使用を規定しています。これらの規約は、Meta ピクセル、コンバージョン API、Facebook SDK for App Events、オフラインコンバージョン、App Events API および Offline Events API などのビジネスツールの使用、ならびにウェブサイトカスタムオーディエンス、モバイルアプリカスタムオーディエンス、およびオフラインカスタムオーディエンスの作成および使用のためのデータの使用を対象としています。

利用目的

Meta は、ビジネスツール規約（第 2 条）に記載されているとおり、ビジネスツールを通じてパートナーから受領した情報を以下の目的のために処理します：

- **効果測定および分析サービス**：パートナーの広告キャンペーンおよびその他のオンラインコンテンツの影響に関するレポートを作成し、パートナーのアプリ、ウェブサイト、製品、およびサービスの利用者およびその利用に関する分析やインサイトを生成するため。
- **広告のターゲティング**：パートナーのサービスを利用する人々、または類似する人々に対して、パートナーの広告キャンペーンをターゲティングするため。
- **広告配信の改善**：情報を Meta のサービスを利用するユーザーと関連付け、パートナーの広告キャンペーンの目的を支援し、広告配信モデルの効果を改善し、人々に対する広告の関連性を判断するため。
- **機能およびコンテンツのパーソナライズ**：Meta 製品上および Meta 製品外で人々に表示する機能およびコンテンツをパーソナライズするため。
- **Meta 製品の改善および保護**：Meta のサービスを利用する人々の体験を改善し、ならびに Meta のサービス上およびサービス外での完全性の維持・改善、安全性およびセキュリティの促進を目的とした研究開発のため。

② 第三者から収集された情報の処理、分析、および利用

質問 1-2-1 および 1-4 への回答もご参照ください。

ビジネスツールを通じて第三者から収集された情報は、以下の方法で処理、分析、および利用されます：

- **照合および関連付け：** パートナーがビジネスツールを通じて情報を送信すると、Meta は、提供された連絡先情報（ハッシュ化されたメールアドレスなど）またはその他の識別子（Cookie 識別子やモバイル広告 ID など）を使用して、Meta のユーザーID との照合を試みます。この照合は、ユーザーがログイン中であるかログアウト中であるかに関わらず行われます。照合が成功した場合、イベントデータはそのユーザーのアカウントに関連付けられます。照合できなかったイベントデータは、集計されて Meta の機械学習モデルに使用される場合がありますが、Meta は、登録ユーザーと照合できないビジネスツールから受領した情報を使用して、非ユーザー（すなわち、アカウントを持たないユーザー）のプロファイルを作成することはありません。
 - **広告における利用：** [プライバシーポリシー](#) および質問 1-4 への回答に記載のとおり、Meta はビジネスツールを通じて受領した情報を広告サービスの一環として利用します。
-

③ 脆弱な個人（青少年・子ども、および高齢者）に対する措置

質問 1-2-2 への回答もご参照ください。

Meta は、脆弱な個人に関して、ビジネスツールを通じて第三者から収集した情報に対し、すべてのユーザー情報に適用されるものと同じ保護措置を適用しています。

④ 第三者から収集した情報の他の第三者への提供

質問 1-3 への回答もご参照ください。

⑤ 第三者から収集した情報とユーザーアカウントとの紐付け

		質問 1-5 への回答もご参照ください。
5-2 [3-2]	情報収集する第三者や第三者のウェブサイト等の基準、条件	※利用者情報の提供元となる第三者や、情報収集モジュールを設置する第三者のウェブサイト等について、一定の条件を設けている場合には、その条件についてご記載ください。 （例えば、信条・健康情報等の要配慮情報を含む情報が提供される可能性がある第三者からは提供を受けない、JavaScript タグ・情報収集モジュールの設置により送信される情報により、要配慮情報がプロファイリングされる可能性がある第三者のウェブサイト等には JavaScript タグ・情報収集モジュールを設置させない等、第三者や第三者のウェブサイト等に対する条件など） 本設問は、Meta が情報を収集する第三者または第三者のウェブサイトに適用される基準・条件について尋ねているものと理解しております。 2025 年度モニタリング要請に対する質問 3-2 への回答（2024 年度モニタリング要請に対する質問 3-2 への回答を参照）をご参照ください。以下に全文を再掲し、関連する箇所について修正を加えています。 Meta は、関連する製品規約（例：ビジネスツール規約およびカスタマーリストカスタムオーディエンス規約）を通じて、Meta に情報を提供する第三者に対する要件を概説しています。

ビジネスツール規約第1条(h)は、契約当事者がMetaにセンシティブな情報を提供しないことを求めています：

「貴殿は、13歳未満の児童に関するものもしくは13歳未満の児童からのものであると知っている、または合理的に知り得べきであるビジネスツールデータ、あるいは健康情報、金融情報、その他のカテゴリーのセンシティブな情報（適用法令、規制および適用される業界ガイドラインにおいてセンシティブと定義される情報を含む）を含むビジネスツールデータをMetaと共有しないことを表明し保証するものとします。」

[ビジネスツール規約](#)の第1条(e)は、第三者のアプリおよびウェブサイトに対して以下を含む一定の義務を課しています：

「貴殿〔パートナー〕は、貴殿（および貴殿が利用するデータプロバイダー）がビジネスツールデータの開示および使用に関して、すべての必要な権利および許可、ならびに適法な根拠（すべての適用法令、規制および業界ガイドラインに準拠したもの）を有していることを表明し保証するものとします。」

さらに、第3条(c)-(d)においては、Metaがエンドユーザーの端末にCookieまたはその他の情報を保存およびアクセスすることを可能にするためのビジネスツールの使用に関して、以下のとおり定めています：

「c. 貴殿は、少なくとも以下を含む、ビジネスツールデータの収集、共有および使用に関して、ユーザーに対し確実かつ十分に目立つ通知を提供したことを表明し保証するものとします：

d. エンドユーザーの端末にCookieまたはその他の情報を保存およびアクセスすることについてインフォームドコンセントを必要とする法域（欧州連合を含むがこれに限定されない）においては、貴殿は、Meta ビジネスツールを使用してエンドユーザーの端末へ

		の Meta Cookie またはその他の情報の保存およびアクセスを可能にする前に、エンドユーザーがすべての必要な同意を提供していることを検証可能な方法で確保しなければなりません。（同意メカニズムの実装に関する提案については、Meta の Cookie 同意リソースをご覧ください。）」 また、Meta は、どのような情報が禁止されているか、およびその理由についてユーザーが理解できるよう、追加情報を提供しています。詳細はこちらをご覧ください。 最後に、Meta のシステムは、第三者から受領するセンシティブな可能性のある情報のうち検知可能なものを、Meta の広告システムで使用される前にフィルタリングするよう設計されています。
5-3 [3-4] ※下線部追加	第三者へ提供しているタグ・情報収集モジュールに関する情報の提供状況（タグ・情報収集モジュールの仕様、<u>第三者向けの外部送信規律への対応方法の通知・公表等</u>）	※JavaScript タグ・情報収集モジュールを設置する第三者のウェブサイト等が外部送信規律に対応するためには、当該 JavaScript タグ・情報収集モジュールの仕様（送信する情報の内容、送信先、利用目的等）について認識する必要があるところ、当該仕様について、当該第三者に対して行っている情報提供の<u>内容を抜粋、スクリーンショット又はリンクと併せてご記載ください。</u> <u>※また、当該仕様について重要な変更（送信される情報の内容、利用目的の変更等）があった場合に、第三者に対して当該変更内容について通知等が行われるか、行っている場合はその内容についても、ご記載ください。</u> Meta は、本設問が以下について説明を求めているものと理解しております：(i) Meta のタグ／情報収集モジュールの仕様に関して、第三者にどのように情報を提供している

か、および (ii) 当該仕様の重要な変更について、第三者に通知を行っているか、また行っている場合はその方法。

2025 年度モニタリング要請に対する質問 3-4 への回答（2024 年度モニタリング要請に対する質問 3-4 への回答を参照）をご覧ください。以下に関連部分を再掲し、必要に応じて更新しています。

第三者に提供する仕様に関する情報

[ビジネスツール規約](#)は、パートナーによる Meta ビジネスツールの使用の結果として Meta が受領するデータの、広告、マッチング、測定および分析に関連する利用を規定しています。

Meta は、これらのツールの使用方法を[ビジネス向けヘルプセンター](#)および[開発者向けドキュメント](#)で公開している資料において説明しています。例えば、以下をご参照ください：

- [Meta イベントマネージャ](#)
- [Meta ピクセル – スタートガイド](#)
- [Meta ピクセル – リファレンス（パラメータおよび仕様）](#)
- [コンバージョン API – スタートガイド](#)

Meta は、ビジネスツールを実装する開発者に対し、ビジネスツールの統合方法、および企業が Meta に送信する情報を選択するためのビジネスツールの設定方法に関する手順を提供しています。

		Meta の関連法人によるサブプロセッシングについては、データ処理規約およびデータ処理規約に組み込まれた規約、より具体的には広告サブプロセッサー一覧に記載されています。 仕様の重要な変更に関する通知 Meta は一般に、ビジネスツール規約を含む規約の更新に先立ち、ビジネスクライアントに事前通知を行っています。この事前通知は通常、オンライン規約の上部に表示されるバナーの形式で提供されます。場合によっては、オンラインバナーに加え、広告マネージャツール内またはその他の広告クライアントインターフェース内でポップアップを表示することもあります。 例えば、Meta は 2025 年 11 月 3 日付で発効する Meta ビジネスツール規約の更新を行い、顧客のウェブまたはアプリのアクティビティに基づく広告主オーディエンスが除外ターゲティングに使用される場合の取扱いの変更を反映しました。この更新は 2025 年 10 月 2 日に告知され、変更の発効前に広告クライアントに事前通知が提供されました。 Meta の API に関する変更は、Meta の開発者サイトで公開されているチェンジログにも記載されています。 さらに、Meta が電気通信事業法に基づく関連義務をどのように遵守しているかについては、質問 4-1 への回答をご参照ください。
5-4 【新規問】	タグ・情報収集モジュール等の外部送信ツールに関するオプトアウト手段の提供状況	※外部送信ツールの提供者として、当該ツールによる情報収集の停止又は収集した情報の利用の停止に関するオプトアウト手段を設置している場合には、その内容（対象範囲（情報収集の停止又は利用の停止）、具体的な設定方法、対

象となる情報等) について抜粋、スクリーンショット又はリンクと併せてご記載ください。

※当該オプトアウト手段について、アカウント保有の有無その他の条件により、アカウント非保有者との間で利用可能な機能に差異がある場合には、その内容についても併せてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。

Meta は、本設問が、外部送信ツール (Meta ピクセル、SDK、コンバージョン API など) の提供者としての Meta が、ユーザーが当該ツールによる自己の情報の収集を停止すること、または当該ツールを通じて収集された情報のパーソナライズド広告への利用を停止することを可能にするために、どのようなオプトアウトの仕組みを提供しているかを尋ねているものと理解しております。

Meta がユーザーに対してオプトアウトおよびデータの管理を可能にするために提供しているツールおよびコントロールの詳細については、上記設問 2-5-1 および 2-5-2 に対する回答をご参照ください。

アカウント非保有者については、上記設問 1-5 に対する回答で述べたとおり、Meta はアカウントを持たないユーザーについてプロフィールの作成や識別可能な個人へのデータの紐付けを行いません。外部送信ツールを通じて受信した情報のうち、既存のアカウントと照合できないものは、アカウント非保有者の広告プロフィールの構築のために処理されることはありません。したがって、Meta 固有のオプトアウト設定はアカウント非保有者には適用されません。

アカウント非保有者は、ブラウザまたはオペレーティングシステムを通じて利用可能なデバイスレベルのコントロールを活用し、外部送信ツールが一般的に使用する Cookie お

		よび類似技術を管理することができます。これらのデバイスレベルのコントロールにより、当該ツールによる情報の収集を効果的に停止することが可能です。
6. AI の活用等の新たな技術による利用者のターゲティングについて、利用者への透明性の確保や利用者情報の取扱いの観点から懸念等はないか。		
6-1. [1-5] ※下線部追加	AI 技術を活用した利用者のプロファイリング（目的、利用する情報等）・セグメント化状況	<u>※AI 技術を活用した利用者のプロファイリングの目的、利用する情報（例：閲覧履歴、行動ログ、属性など）及び生成されるセグメントの内容について具体的にご記載ください。</u> この質問は、Meta に対し、(1) AI を使用した利用者プロファイリングの目的、(2) 使用される情報の種類（例：閲覧履歴、行動ログ、属性）、および(3) 生成されるセグメントの内容を具体的に説明することを求めるものと理解しました。 ①、②、③については、2025 年モニタリング資料設問 1-5 に対する回答（2024 年モニタリング資料設問 1-5 に対する回答を参照）をご覧ください。以下にその内容を転記し、関連する箇所については更新しております。 ① Meta は、機能、コンテンツおよびレコメンデーションのパーソナライズや、Meta 製品内外での利用者への提案を含め、Meta 製品を提供するために保有する情報を

	使用します。これには、利用者の Facebook フィード、Instagram フィード、Meta AI、ストーリーズおよび広告のパーソナライズが含まれます。 利用者にとってユニークで関連性の高いパーソナライズされた製品を作成するために、Meta は、利用者およびその他の者から収集し学習したデータ、利用者が Meta 製品を使用し操作する方法、ならびに Meta 製品内外で利用者がつながりを持ち関心を寄せている人物、場所または物に基づいて、利用者のつながり、好み、興味および活動についての情報を使用します。 プロファイリングにおける AI 技術の役割 プライバシーポリシーに記載のとおり、Meta はコンテンツおよび広告をパーソナライズするためにアルゴリズムおよび機械学習を使用しています。特に広告配信について、Meta の広告システムは以下のように機能します。 「Meta は、利用者の情報を使用して、利用者にとって最も関連性の高い広告での興味・関心を判断します。Meta は、広告表示の設定での選択内容を含め、保有する情報に基づいて利用者の広告での興味・関心を予測します。
--	---

	広告主は、最も興味を持つと考える人に基づいて、リーチしたいオーディエンスを Meta に伝えます。これには、年齢、性別、広告主が広告を表示したい地域、または興味・関心[...]などが含まれます。 Meta は、利用者に表示する可能性のある広告を確認し、最も関連性の高いものを特定します。Meta の広告システムは、広告主がリーチしたいオーディエンスに利用者が適合する可能性のあるすべての広告候補を自動的に確認します。 Meta は、広告主の目標を最もよく達成し利用者にとって最も関連性が高いかどうかなどに基づいて、どの広告を表示するかを決定します。そのために、Meta はアルゴリズムおよび機械学習を使用して、利用者に表示する可能性のある広告を順位付けします。広告の品質、広告主が希望するオーディエンスおよび予算など、さまざまな要素を使用します。また、Meta 製品上での利用者の活動などに基づいて、利用者が広告に反応する可能性がどの程度あるかも考慮します。」 使用される情報 利用者に表示するコンテンツおよび広告を決定するために、Meta はプライバシーポリシーに記載されている以下のカテゴリーの情報を使用します。 プロフィール情報
--	--

	利用者の設定に従い、Cookie および類似技術を通じて受け取る情報を含む、Meta 製品内外での活動 利用者が Facebook および Instagram で作成した、またはやり取りしたコンテンツ Meta AI の一部である機能とのやり取り 利用者について推測される事項（利用者が興味を持つと思われるトピックなど） 利用者の友達、フォロワー、またはその他のつながりに関する情報（それらの人々の活動や興味を含む） デバイスおよびブラウザ情報（デバイスの種類、OS、識別子、デバイスシグナル） 位置情報関連の情報 Cookie および類似技術からの情報 パートナー、ベンダーおよび第三者からの情報（例：Meta ピクセルなどのビジネスツールを通じたもの） 生成されるセグメント 特にセグメンテーションに関しては、Meta は保有する情報を使用して利用者に最も関連性の高い興味・関心を判断します。広告主は、特定の興味・関心を持つオ
--	---

	オーディエンスを選択して広告を表示することができます。Meta は、利用者がそのコンセプトを容易に理解できるよう、広告主がこれらの興味・関心を使用して広告を表示する方法の例をプライバシーポリシーで提供しています。利用者は、自分に関連付けられている広告の興味・関心を広告表示の設定で確認し、削除することを選択できます。 広告の興味・関心がどのように使用されるかを説明するプライバシーポリシーの例： 「たとえば、ある自転車ショップが Facebook にページを作成し、アトランタ在住のサイクリングに興味のあるオーディエンスにリーチする広告を掲載したいとします。Meta は、たとえば自転車に関するページに「いいね！」したかどうかなどに基づいて、ある人がこのオーディエンスに該当するかどうかを判断します。その後、そのオーディエンスに属する人々が自転車ショップの広告を見ることができます。 広告表示の設定で、自分に割り当てられた「興味・関心」を確認し、必要に応じて削除することができます。
--	---

	自転車ショップは、広告を見ているオーディエンスと広告のパフォーマンスに関する集計統計を示すレポートを見ることができます。レポートは、たとえば広告を見たりクリックしたりした人の大半が以下に該当するという統計を広告主に示します。 女性であった 25 歳から 34 歳であった 携帯電話から広告をクリックした」 なお、Meta は、利用者が許可した場合を除き、氏名やメールアドレスなど、それ自体で個々の利用者に連絡したり特定したりするために使用できる情報を広告主およびそのベンダーと共有することはありません。また、Meta は、特別な保護が適用される情報（宗教的見解、性的指向、健康状態など）を広告表示に使用することはありません。 ② ログアウトした利用者について収集された情報が当該利用者のアカウントと照合される場合は、①に対する回答をご参照ください。収集された情報がアカウントと照合されない場合は、③の回答をご参照ください。
--	---

		③ Meta は、アカウントを持たない利用者から収集した情報を、プライバシーポリシーに記載されている目的のために使用しますが、ビジネスツールを通じて第三者から受け取ったアクティビティ情報のうち登録利用者と照合できないものを使用して、アカウントを持たない利用者のプロフィールを作成することはありません。
6-2. [6-1] ※下線部追加	<u>AI 技術を活用したプロファイリングの利用に関してプライバシー保護その他利用者の利益の保護の観点から留意している取組</u>	<u>※プロファイリングによるセンシティブ情報（人種・信条・病歴等のほか、本人に対する不当な差別、偏見その他の不利益が生じないようにその取扱いに特に配慮を要する利用者情報）の生成は行わないなど、利用者の利益の保護の観点から留意している取組をご記載ください。</u> <u>※上記のほか、AI の活用にあたり、プライバシー保護その他利用者の保護に資する取組を行っている場合は、その内容について具体的にご記載ください。</u> Meta は、本設問が、特に機微な情報に関する AI を活用したプロファイリングから利用者を保護するための取り組みについて尋ねていると理解しております。 Meta は、健康、人種又は民族、所属政党、宗教、又は性的指向に関連する団体、組織、又は公人を参照するオプションなど、機微と認識される可能性のあるトピックに関連する詳細ターゲティングオプションを削除しました。 ● 広告表示の設定：政治的・社会的な問題に関する広告をオフにすることができます。利用者は広告がどのように選択されるかを確認できます。 ● 広告ライブラリの FAQ で詳細情報を提供しています。 ● 「この広告が表示される理由」 ツール：広告配信に寄与した要因（属性情報、興味・関心、ウェブサイト訪問）を表示します。

		Meta は、Facebook、Instagram を含むプラットフォーム全体で広告配信を最適化するために、高度な AI および機械学習（ML）モデルを活用しています。これらの AI システムは、数十億件のデータポイントを分析し、各利用者にとって最も関連性の高い広告を予測します。 AI の透明性に関する開示： ● <u>AI ラベル付け機能（広告）</u>：広告主のマーケティングツールで Meta の生成 AI クリエイティブ機能を使用して画像や動画を作成または大幅に変更した場合、ラベルが表示されます。 ● <u>「この広告が表示される理由」ツール</u>：Meta は、ML モデルを広告表示にどのように活用しているかに関する情報をより詳細に表示するため、このツールを改善しました。 ● <u>透明性と教育リソース</u>：FAQ とヘルプセンターの記事を通じて、AI が広告において果たす役割を説明し、利用者が広告体験を管理する方法を案内しています。 Meta は、AI の透明性に関する運用を継続的に改善しています。
6-3. 【新規問】	AI 技術による不適切なターゲティング広告の排除の状況・実績	※AI 技術を活用した不適切なターゲティング広告（詐欺広告など）の排除の取組について、運用状況や実績について具体的にご記載ください。 本質問は、不適切なターゲティング広告（詐欺広告を含む）を排除するために AI 技術を活用する Meta の取組みについて、その運用状況と実績を説明するよう求めるものと理解しています。 不適切なターゲティング広告を排除するための AI 技術の運用状況

	Meta の広告審査システムは、自動化システムとインテグリティチームを活用し、広告基準に違反する広告やコンテンツを検出・削除しています。当システムは広告が配信される前に審査を行い、配信開始後も再審査を実施する場合があります。Meta は、AI と機械学習を活用した事前検出技術に多大な投資を行い、有害なコンテンツや行為を特定し抑止しています。また、ポリシーに違反する可能性のある広告を大規模に検出するため、様々な手法の活用と検討を続けています。 【非公表】 違反広告が特定された場合、Meta は当該広告の却下にとどまらず、広告アカウントを無効化し、将来的な広告出稿の機能を停止します。適用されるポリシーには、コミュニティ規定および広告基準が含まれ、「詐欺、スキャンおよび欺瞞的行為」ならびに「容認できないビジネス慣行」に対するルールが含まれます。ペイドストライクシステムのもと、違反が一定の閾値に達した広告アカウントは無効化されます。 実績（グローバル） 【非公表】 Meta は、詐欺犯が有名人になりすましたり、その画像を悪用することを防ぐために、顔認識技術を活用した防御策を導入しています。このプログラムは現在、世界中の 50 万人以上の著名人および公人の画像を保護しています。顔認識技術の拡大により、Meta が検出・削除できる有名人なりすまし詐欺広告の量は 2 倍以上
--	---

	に増加しました。2025 年上半期には、広告インプレッション全体に占める有名人なりすまし詐欺広告のユーザー報告が、グローバルで 22%減少しました。 実績（日本） 【非公表】 連携・協力 Meta は、法執行機関、銀行、NPO、およびテクノロジー業界のパートナーと連携し、詐欺防止および詐欺犯の責任追及のための知見やデータの共有を行っています。 ● 業界および法執行機関との連携：Meta は法執行機関、銀行、NPO、およびテクノロジー業界のパートナーと連携し、詐欺防止および詐欺犯の責任追及のための知見やデータの共有を行っています。 ● グローバルにおいては、Global Signal Exchange や Global Anti-Scam Alliance（GASA）等の国際的なパートナーとも連携し、グローバルな詐欺対策防御の強化に取り組んでいます。 Meta は、Tech Against Scam Coalition の設立メンバーでもあり、ソーシャルメディアプラットフォーム、暗号資産取引所、マッチングアプリ、その他のプラットフォーム間でのインテリジェンス共有を促進しています。
--	---

6-4. 【新規問】	AI 関連システムおよび対話型 AI サービスにおける利用者情報の利活用状況	※自社の AI 関連システムにおいて、利用者情報を学習データとして活用している場合は、その内容、目的、利用者への説明方法及び当該情報の保護の観点から講じている措置（匿名化など）についてご記載ください。 ※また、対話型 AI サービスを提供している場合には、当該サービスにおけるターゲティング広告の実施の有無、その際に利用する利用者情報の内容、利用者への説明方法、オプトアウト手段の設置の有無、ならびに今後の広告展開についてご記載ください。 Meta は、本設問が以下について尋ねていると理解しております：（1）Meta が利用者情報を AI 関連システムのトレーニングデータとして使用しているか、使用している場合にはその詳細、目的、利用者への説明方法、および当該情報の保護措置について、（2）対話型 AI サービスにおいてターゲティング広告が実施されているかどうか。 1. 利用者情報のトレーニングデータとしての使用 Meta は、Meta 製品上の公開情報および AI at Meta の一部である機能との利用者のやり取りを使用してモデルをトレーニングしています。Meta プライバシーポリシーの「お客様の情報を処理する理由と方法」-「AI at Meta の開発および改善」において、以下のとおり説明しています：利用者が Meta 製品上で作成または共有した公開コンテンツ、および AI at Meta とのやり取りとその関連メタデータを、AI at Meta の開発・改善のために使用します。 「お客様の情報を処理する理由と方法： Meta 製品および第三者のための AI at Meta の開発および改善。 使用する情報カテゴリー（各情報カテゴリーの詳細は「収集する情報」をご参照ください）。実際に使用する情報はお客様の具体的な状況に応じて異なりますが、以下のいずれかが含まれる可能性があります： お客様の活動および提供いただいた情報：
-----------------------	---	--

	● お客様または他の利用者が Meta 製品上で作成または共有した公開コンテンツ（投稿、コメント、音声など） ● AI at Meta とのやり取りおよび関連メタデータ。例えば、お客様または他の利用者が AI at Meta とやり取りするコンテンツやメッセージなどの情報。 パートナー、ベンダーおよび第三者からの情報 さらに、Meta プライバシーポリシーからリンクされているプライバシーセンターの記事の「Meta はトレーニング情報をどこから取得するか」において、以下のとおり説明しています： 「効果的なモデルを教育するには非常に大量のデータを必要とするため、以下を含む複数のソースを組み合わせることでトレーニングに使用しています： ● インターネット上で利用可能な情報 ● コンテンツを提供する第三者からの情報（当社の無料モデルを通じて提供される外部開発者が構築した製品およびサービスからの情報を含む） ● Meta 製品上で共有された情報（投稿や写真とそのキャプション、および AI at Meta の一部である機能とのやり取りを含む）」 【非公表】 3. 対話型 AI サービスとターゲティング広告 18 歳以上の利用者について、Meta は広告コンテンツをパーソナライズするために Meta AI との利用者のやり取りを使用します。これは、Meta プライバシーポリシーの「お客様の情報を処理する理由と方法」- 「Meta 製品のパーソナライズ」において、以下のとおり説明されています。 「お客様の情報を処理する理由と方法： Meta 製品のパーソナライズ：当社のシステムは、お客様および他の利用者に関連して収集・保存した情報を自動的に処理し、お客様の興味・関心や嗜好を評価・把握した上
--	---

		で、当社の利用規約に従い、Meta 関連製品上およびそれらをまたいでパーソナライズされた体験を提供します。具体的には以下のとおりです： ● 機能やコンテンツのパーソナライズ (Facebook フィード、Instagram フィード、AI at Meta、ストーリーズなど) ● 利用者に表示される広告のパーソナライズ ● お客様への提案（知り合いかもしれない人、興味のあるグループやイベント、フォローしたいトピックなど）を当社製品上および製品外で提供すること。」
6-5. [6-2] ※下線部追加	サードパーティクッキーの代替技術に関する取組、利用者への説明の状況	※利用者のターゲティングにおいて、今後もサードパーティクッキーを活用していくのか、代替的な新たなアプローチを採用するのかについてご記載ください。 <u>※サードパーティクッキーの代替技術を用いたターゲティング広告について、プライバシーポリシー等で利用者が容易に到達可能な箇所で説明を行っているか、行っていればその内容が分かるように抜粋、スクリーンショット又はリンクと併せてご記載ください。</u> この質問は、Meta がサードパーティ Cookie に代わる技術についてプライバシーポリシーのアクセスしやすいセクションで説明しているかどうかを問うものと理解し、関連する抜粋およびリンクを以下に示す。 Cookie は、サードパーティのアプリやウェブサイト上での利用者のアクティビティを Meta 製品上の利用者のアカウントに結び付けるために Meta が使用する唯一のツールではない。Meta は、Cookie、Meta ピクセル、ソーシャルプラグイン、モバイル SDK、コンバージョン API、およびメールアドレスや広告デバイス ID などのハッシュ化された識別子を含む様々な技術を使用して、Meta 製品外での利用者のアクティビティに関する情報

をパートナーから受け取っている。これらの技術は、Meta のプライバシーポリシーおよびリンクされたヘルプセンターの記事のアクセスしやすいセクションに記載されている。

関連するプライバシーポリシーの開示事項

Meta の [プライバシーポリシー](#)（2026 年 7 月 23 日発効）は、以下のセクションにおいてこれらの技術およびターゲティング広告への使用について説明している。

1. 「Cookie および類似技術からの情報」

プライバシーポリシーは、Meta が使用する技術の範囲について、Cookie に限定されないことを示している。

「Cookie は、ウェブブラウザに情報を保存するために使われる小さなテキストです。Meta は Cookie および類似技術（ウェブブラウザやデバイスに保存するデータ、デバイスに関連付けられた識別子およびその他のソフトウェア、ソーシャルプラグイン、Meta ピクセルを含みます）を使用しています。これらは、コンテンツのパーソナライズ、広告の調整と測定、より安全な体験の提供など、Meta 製品の提供、保護および改善に役立てられます。」

このセクションは、Meta がサードパーティ Cookie 以外の技術（デバイスに保存されたデータ、デバイス識別子、ソーシャルプラグイン、Meta ピクセルを含む）にも依拠していることを明確にしている。

2. 「パートナー、ベンダーおよびその他の第三者からの情報」

プライバシーポリシーは、パートナーから受け取る情報の種類および使用されるメカニズムについて説明している。

「パートナーは、メールアドレス、Cookie、広告デバイス ID などの情報も Meta と共有します。これにより、アカウントをお持ちの場合に、利用者のアクティビティとアカウントとのマッチングが可能になります。

この情報は、利用者が Meta 製品にログインしているかどうか、またはアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta に提供されます。パートナーからの情報と利用者のアカウントとの結び付け方法の詳細をご覧ください。」

このセクションは、利用者のプラットフォーム外でのアクティビティを Meta アカウントに結び付けるために使用される具体的な代替識別子（メールアドレス、Cookie、広告デバイス ID）を特定し、詳細を記載した[ヘルプセンターの記事](#)にリンクしている。

プライバシーポリシーはまた、パートナーから受け取るデータの種類について以下のとおり記載している。

- 「ソーシャルプラグインや Meta ピクセルなどを通じたウェブサイトへのアクセスおよび Cookie データ」
- 「利用者が使用するアプリ」
- 「Meta 以外の決済手段を通じた Meta 製品外での購入および取引」
- 「利用者が閲覧する広告およびそれに対するインタラクション」
- 「オンラインまたは対面でのパートナーおよびその他の第三者の製品・サービスの利用状況」

3. アカウントなしで収集される情報

プライバシーポリシーは、アカウントを持たない利用者やログインしていない利用者に対してこれらの技術がどのように機能するかについても説明している。

「また、Meta のビジネスツールやその他の Meta 製品を使用する他のウェブサイトやアプリに利用者がアクセスした際にも、Meta ピクセルやソーシャルプラグインなどの Cookie および類似技術を通じて情報を受け取ります。」

4. 「広告のパーソナライズのための第三者からの情報の使用」

「情報を処理する理由および方法」と題されたセクションにおいて、プライバシーポリシーは、第三者からの情報がターゲティング広告にどのように使用されるかを説明している。

「利用者に表示される広告を調整するための第三者からの情報の受領および使用：広告主、ビジネスおよびその他のパートナーが Meta に提供する、利用者に関連付けられた Meta 関連会社の製品外でのアクティビティに関する情報を使用して、Meta 製品上、および Meta の広告サービスを使用するウェブサイト、アプリ、デバイス上で利用者に表示される広告をパーソナライズします。この情報は、利用者が Meta 製品にログインしているかどうか、またはアカウントを持っているかどうかにかかわらず、Meta に提供されます。」

利用者にとっての情報のアクセシビリティ

上記の情報はすべて、以下を通じていつでも利用者がアクセスできる。

- [Meta プライバシーポリシー](#) - すべての Meta 製品を対象とし、上記に抜粋したセクションを含む主要なポリシー文書

		● Meta Cookie ポリシー – プライバシーポリシーからリンクされており、Cookie および類似技術の使用に関する追加的な詳細を提供する文書 ● ヘルプセンター：Meta ビジネスツール – Meta ピクセルなどのビジネスツールの仕組みを説明する記事 ● ヘルプセンター：パートナーからの情報と利用者のアカウントとの結び付け方法 – プライバシーポリシーから直接リンクされており、パートナーからの情報が利用者のアカウントに関連付けられるメカニズムを説明する記事
7. 日本における体制整備		
7-1. 【新規問】	日本におけるプライバシー保護・法令遵守を確保するための体制整備、人材育成（専門人材の配慮等）の状況	※日本の法令（電気通信事業法や個人情報保護法等）やプライバシー保護の実務に精通した専門人材の体制整備（国内における専門人材の配置の有無、どのような業務やプロセスに関与しているか、本社との連携の状況等）について、ご記載ください。 ※上記法令やプライバシー保護の実務に精通した専門人材の育成に向けた取組（教育・研修の内容、育成プロセス等）について、ご記載ください。 本質問は、以下を問うものと理解しています。(1) Meta において日本法に精通した専門人材がどのように配置されているか、当該人材が日本に駐在しているか、どのような業務やプロセスに関与しているか、本社とどのように連携しているか、(2) Meta がそうした専門人材の育成・研修に向けてどのような取り組みを行っているか。 Meta では、日本国内向けの専門人材を配置し、人材育成の取り組みを行っています。

		【非公表】
--	--	-------